

# 東北森林管理局管内の 木材需給及び木材価格等について

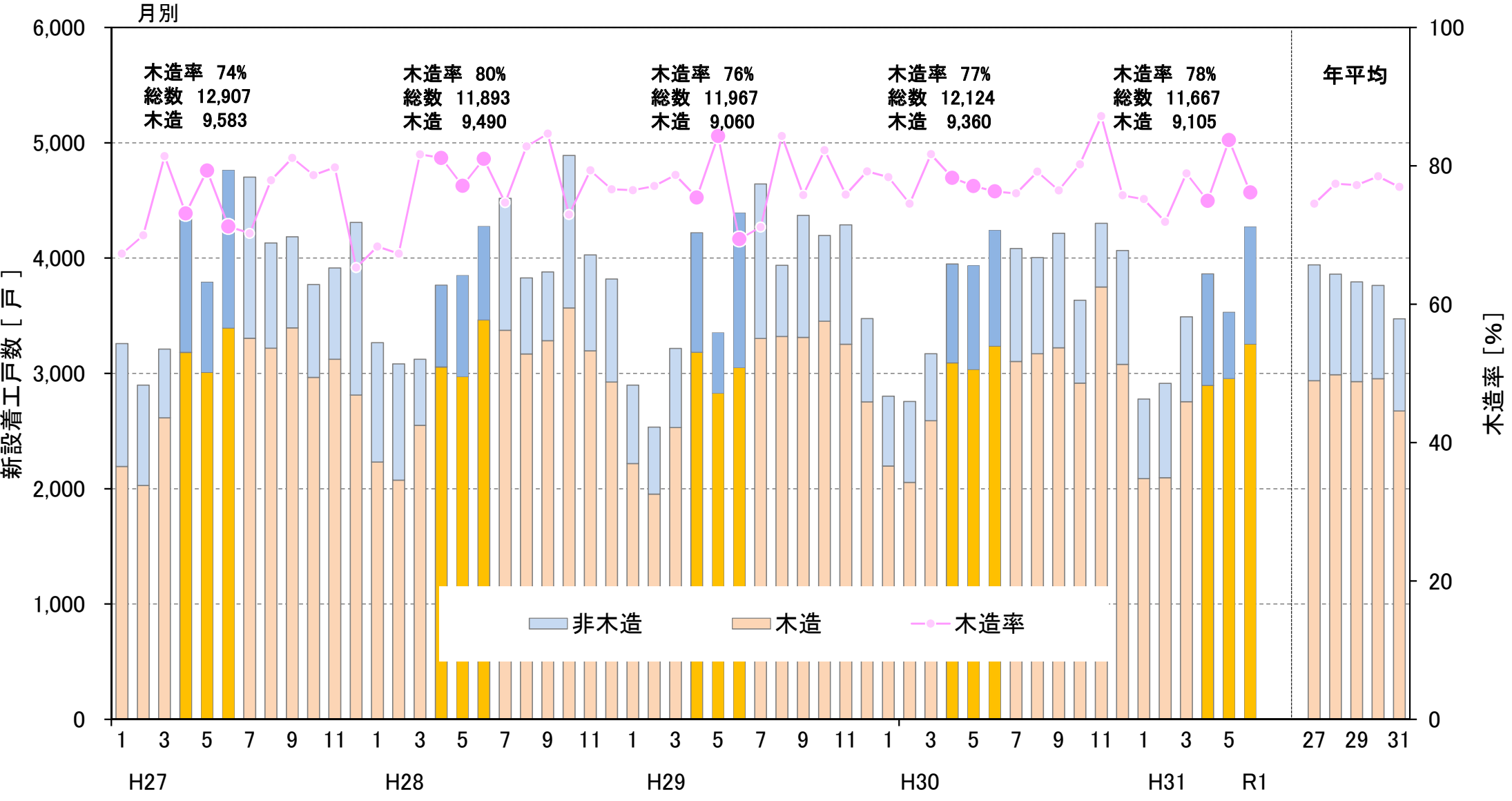
令和元年9月5日(木)

東北森林管理局



# ■ 東北森林管理局管内5県の新設住宅着工戸数の推移（平成27年1月～令和元年6月）

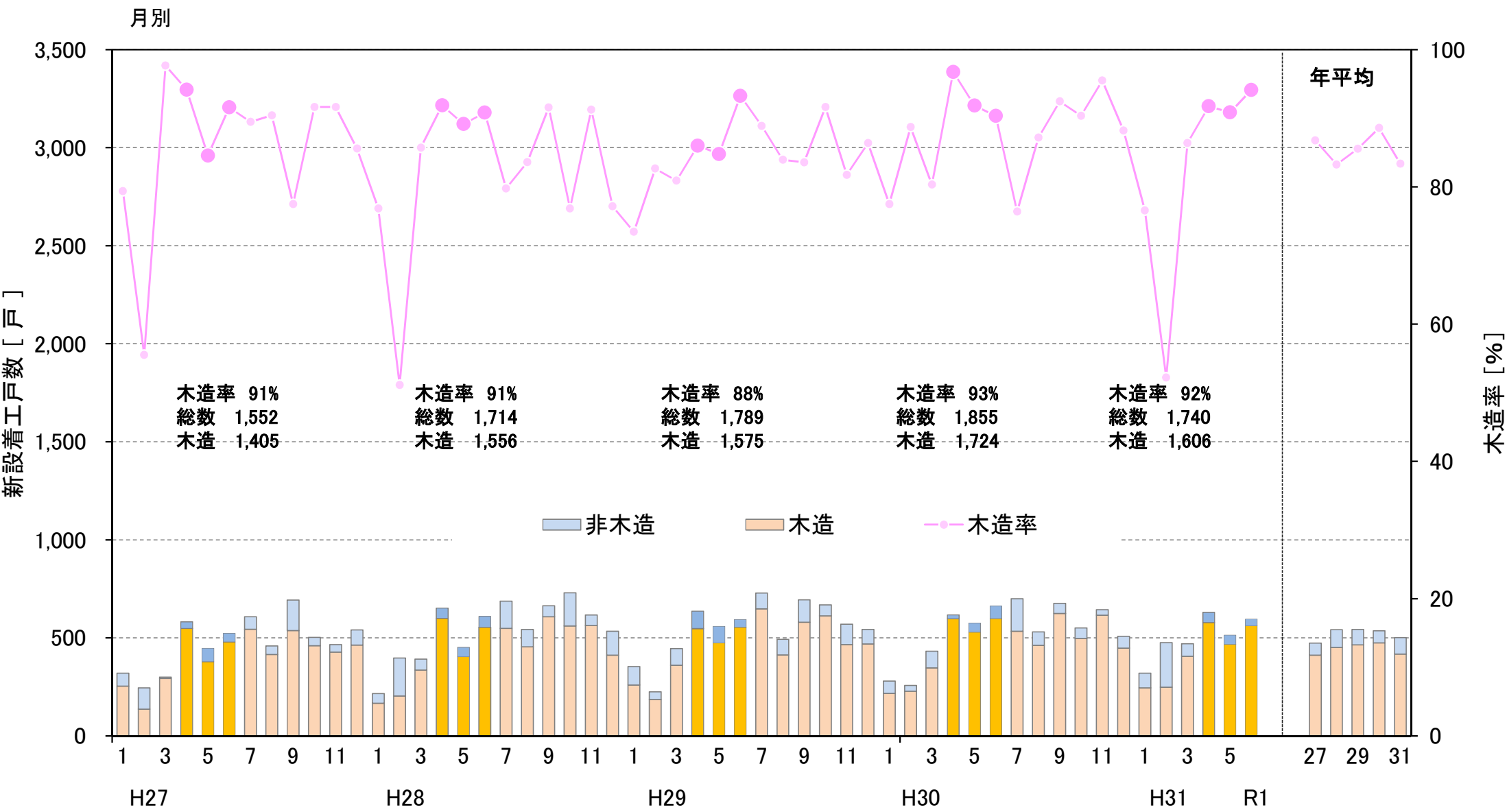
○ 東北5県の令和元年度4～6月期の新設住宅着工数は、昨年同期より457戸減少した。  
 この期間の木造は昨年同期より255戸減少し、木造率は1%増加した。



出典：国土交通省「住宅着工統計」

# ■ 青森県の新設住宅着工戸数の推移(平成27年1月～令和元年6月)

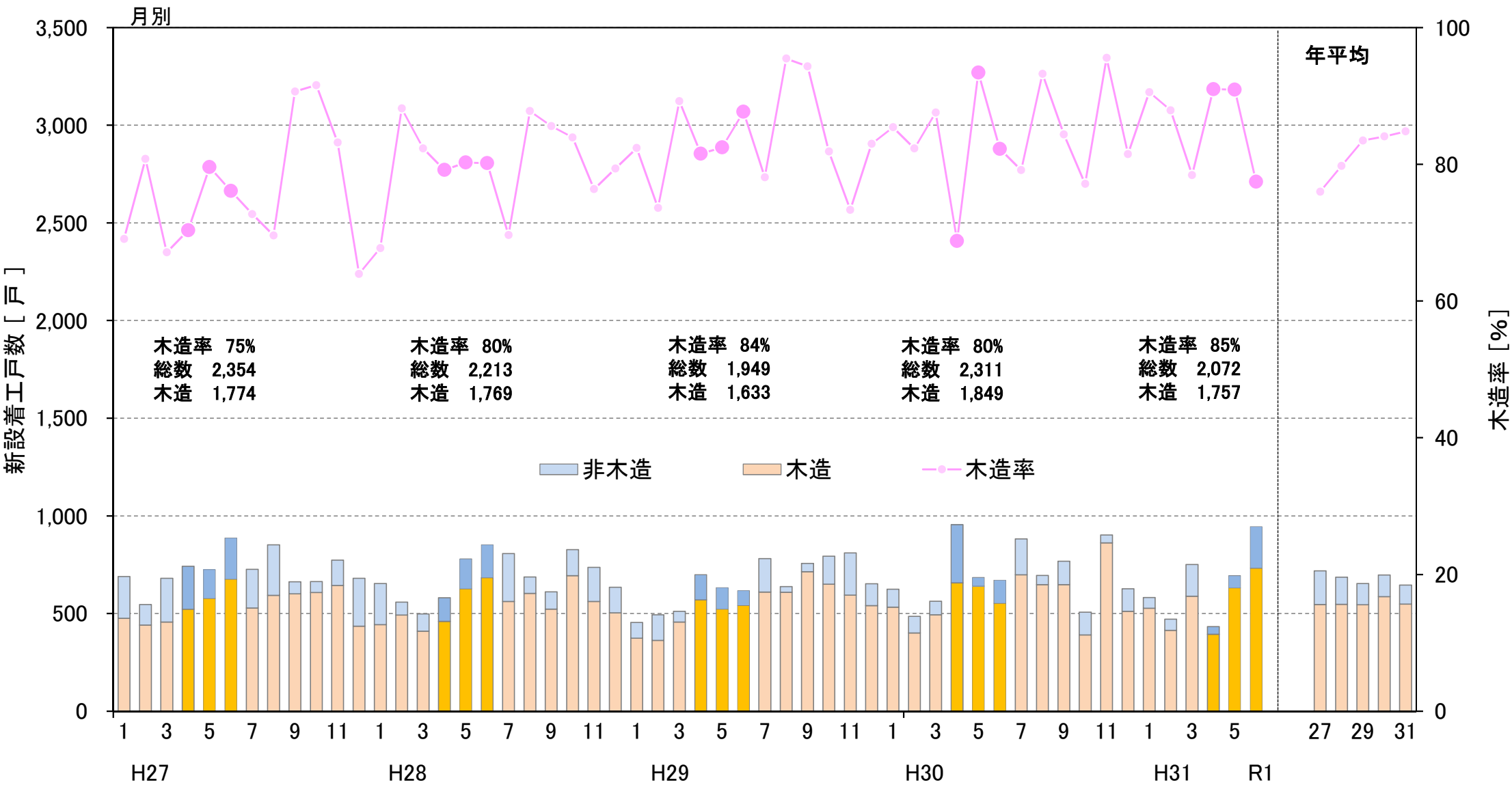
○ 青森県の令和元年度4～6月期の新設住宅着工数は、昨年同期より115戸減少した。  
 この期間の木造は昨年同期より118戸減少し、木造率は1%減少した。



出典：国土交通省「住宅着工統計」

# ■ 岩手県の新設住宅着工戸数の推移(平成27年1月～令和元年6月)

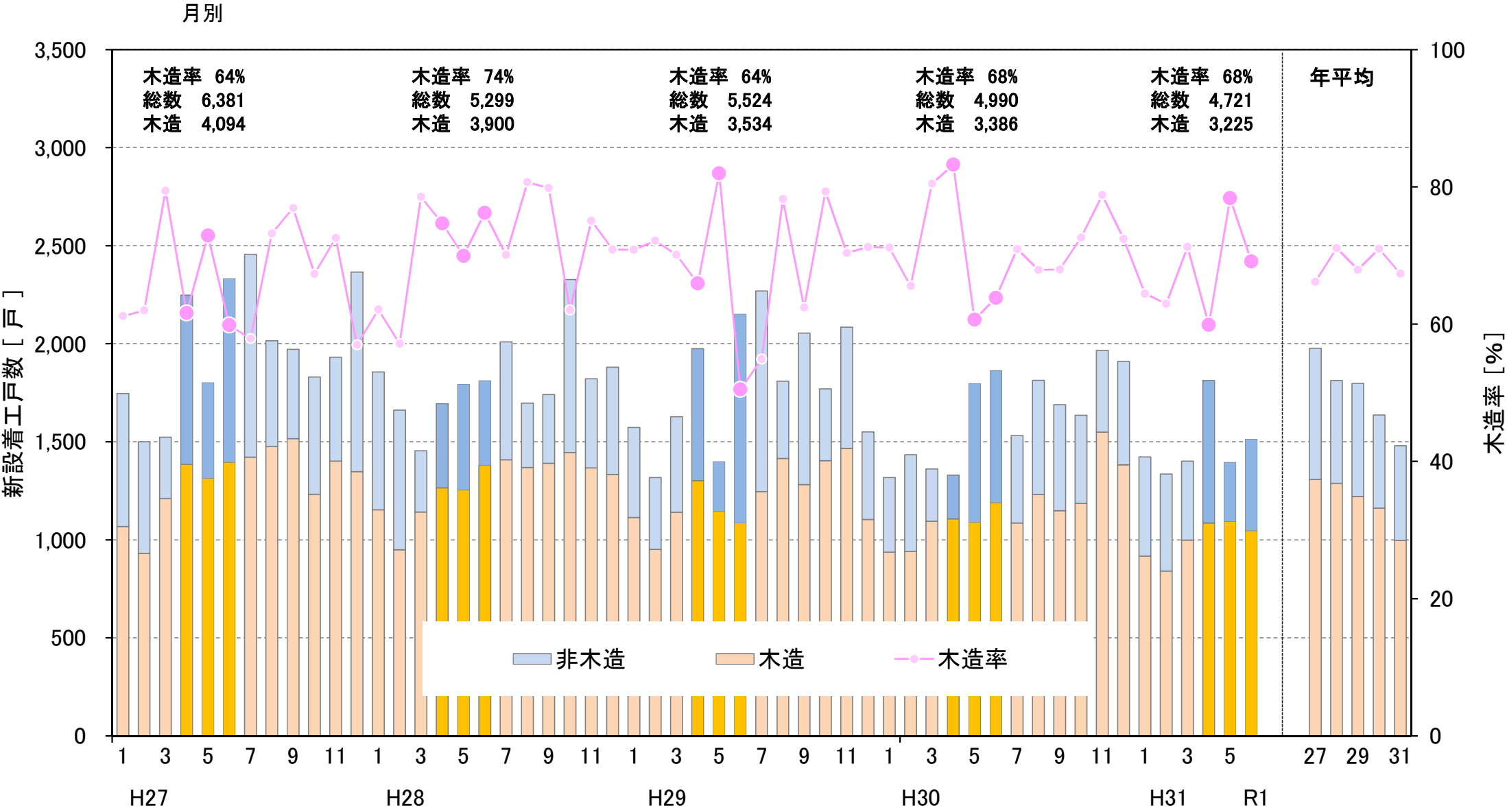
○ 岩手県の令和元年度4～6月期の新設住宅着工数は、昨年同期より239戸減少した。  
 この期間の木造は昨年同期より92戸減少し、木造率は5%増加した。



出典：国土交通省「住宅着工統計」

# ■ 宮城県の新設住宅着工戸数の推移(平成27年1月～令和元年6月)

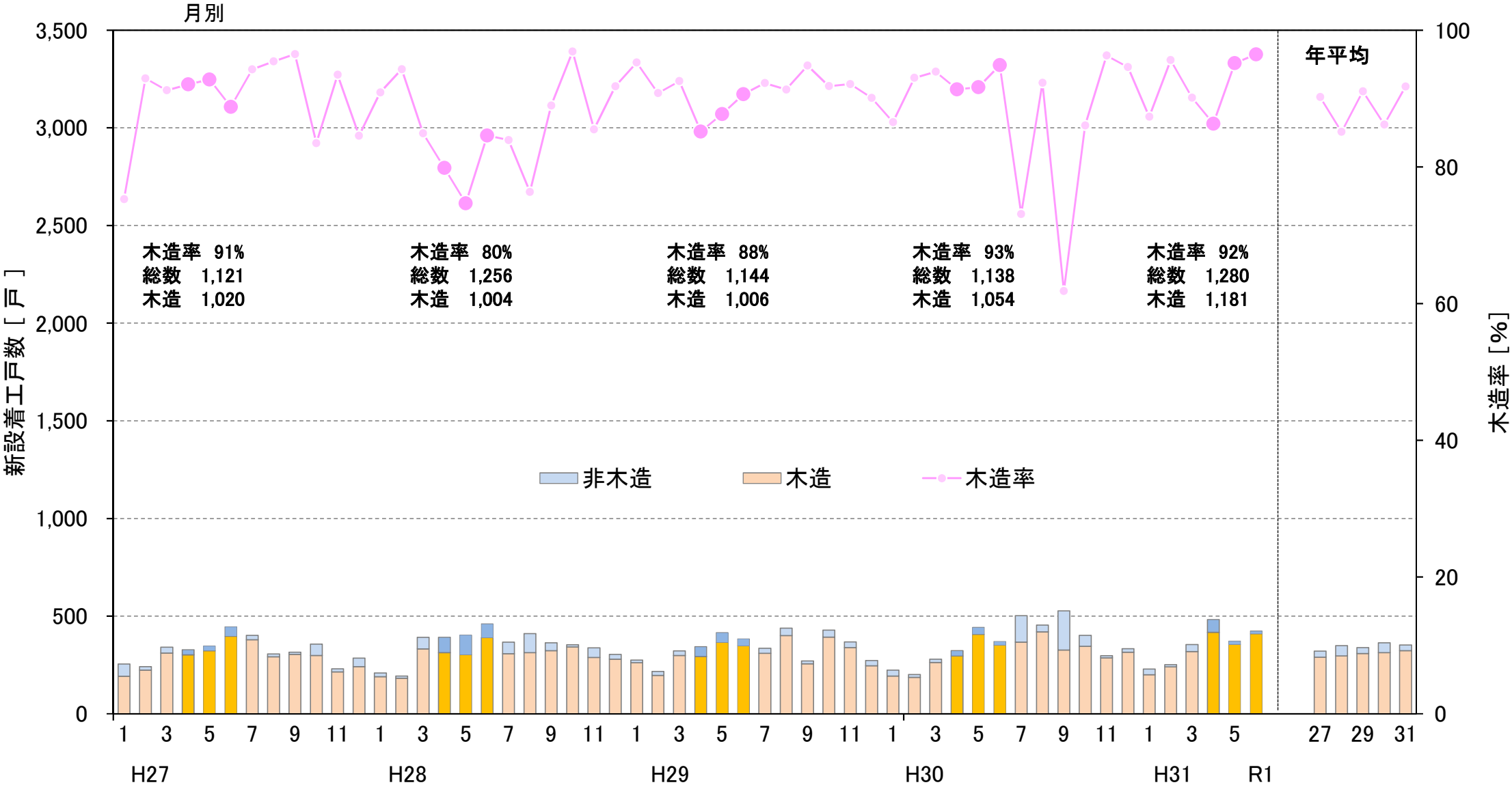
○ 宮城県の令和元年度4～6月期の新設住宅着工数は、昨年同期より269戸減少した。  
 この期間の木造は昨年同期より161戸減少し、木造率に変化はなかった。



出典：国土交通省「住宅着工統計」

# ■ 秋田県の新設住宅着工戸数の推移(平成27年1月～令和元年6月)

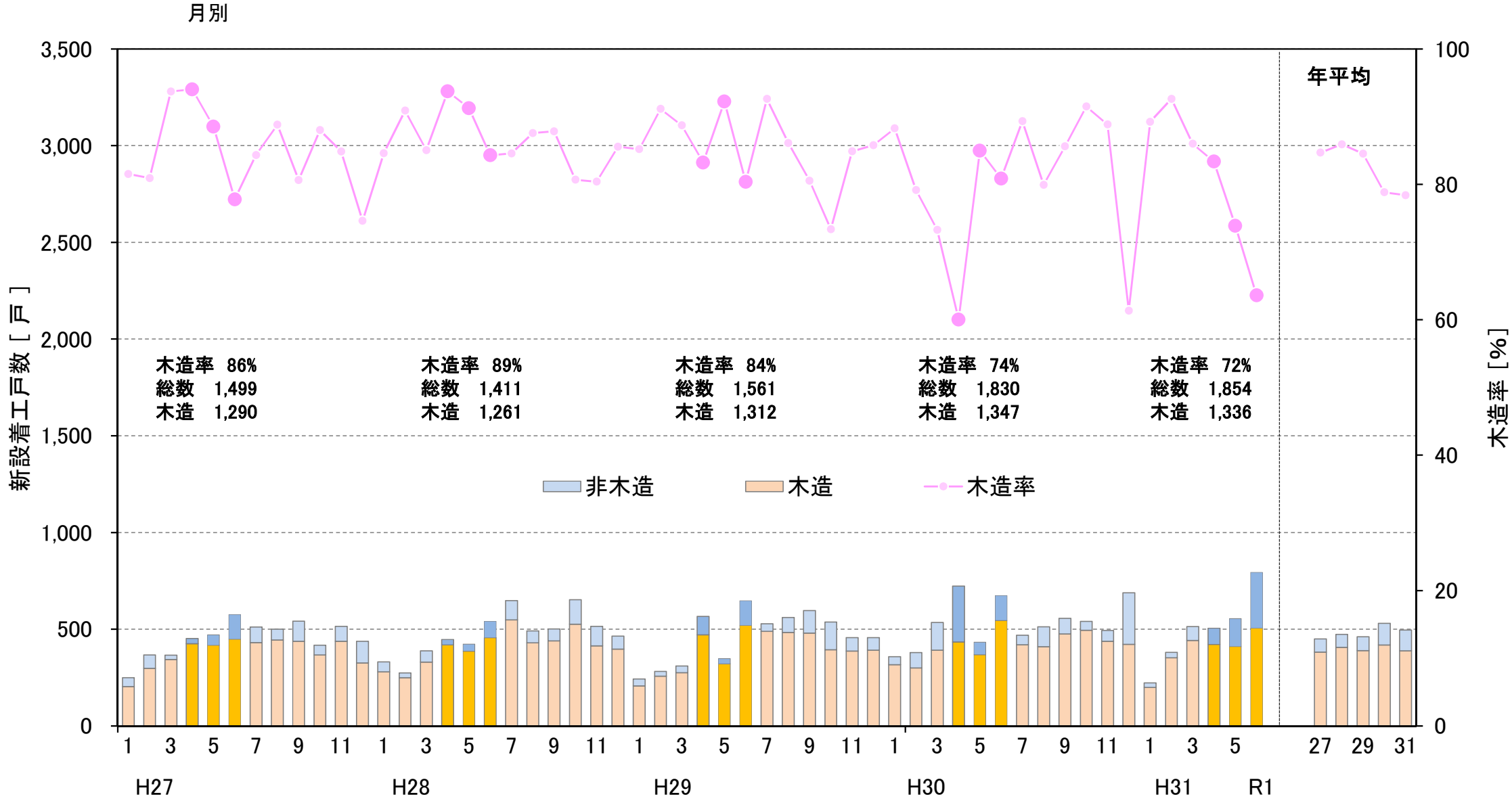
○ 秋田県の令和元年度4～6月期の新設住宅着工数は、昨年同期より142戸増加した。  
 この期間の木造は昨年同期より127戸増加し、木造率は1%減少した。



出典：国土交通省「住宅着工統計」

# 山形県の新設住宅着工戸数の推移(平成27年1月～令和元年6月)

○ 山形県の令和元年度4～6月期の新設住宅着工数は、昨年同期より24戸増加した。  
 この期間の木造は昨年同期より11戸減少し、木造率は2%減少した。

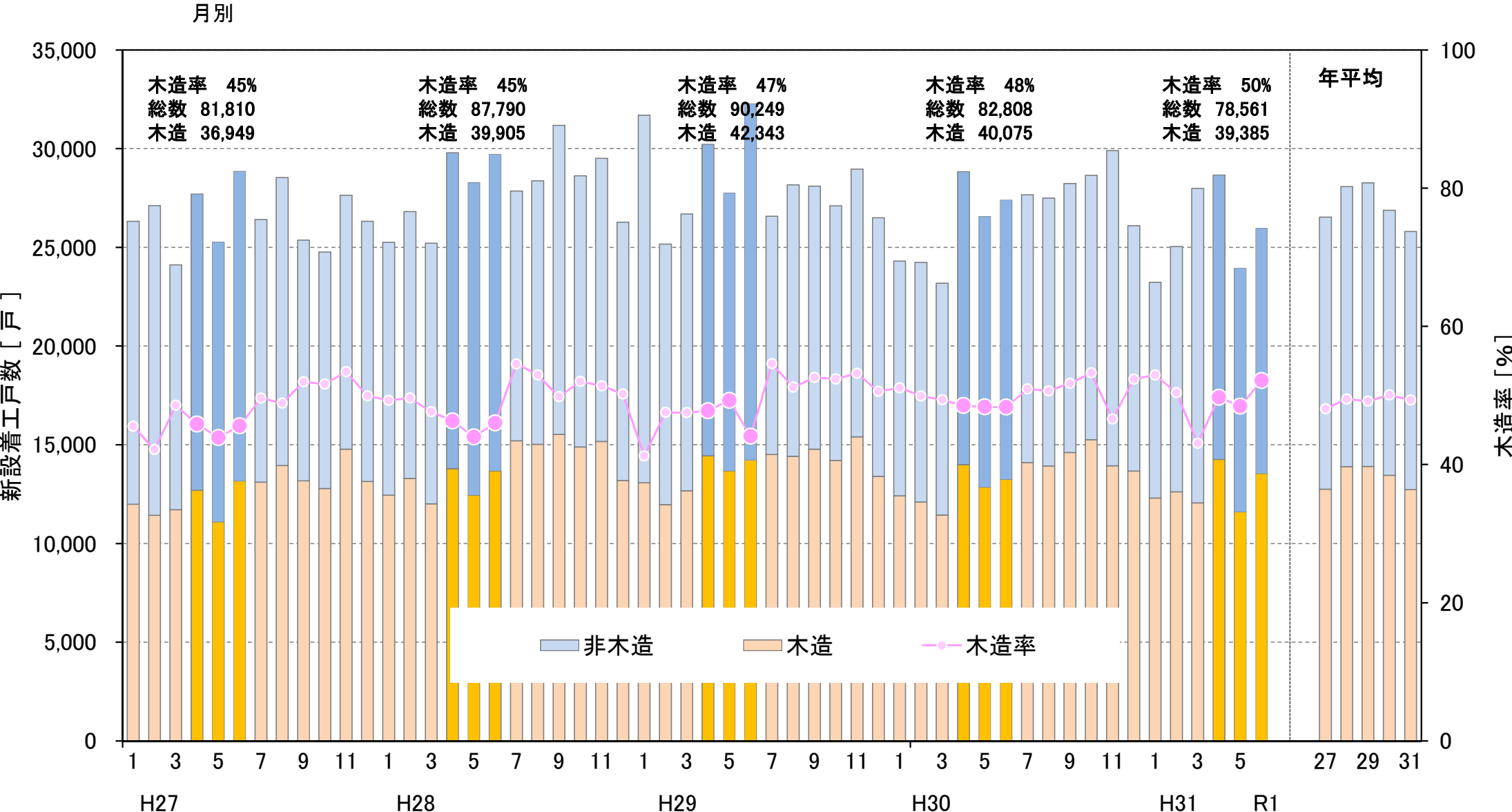


出典：国土交通省「住宅着工統計」



# ■ 埼玉、千葉、東京、神奈川の新設住宅着工戸数の推移(平成27年1月～令和元年6月)

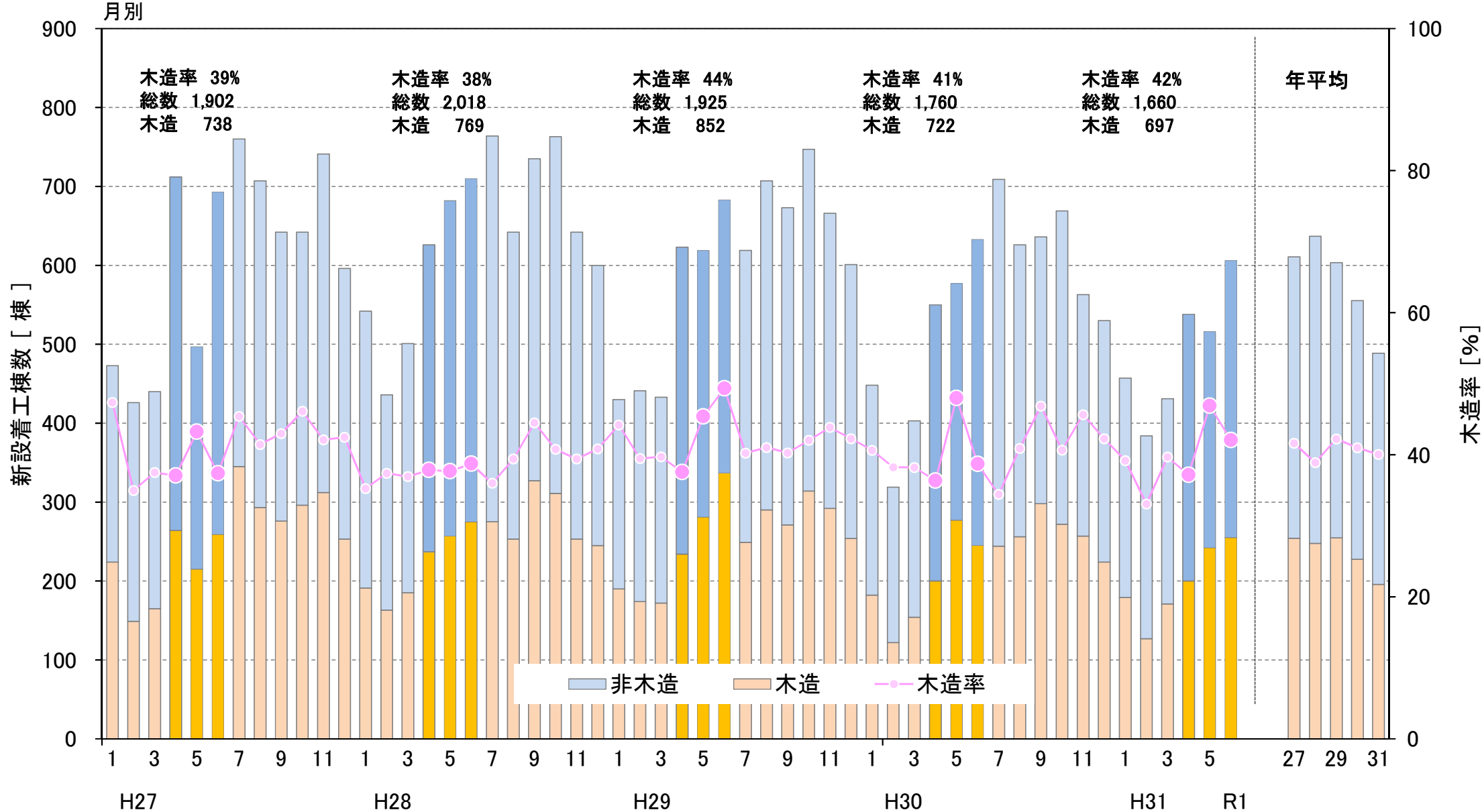
○ 関東主要都市の令和元年度4～6月期の新設住宅着工数は、昨年同期より4,247戸減少した。  
 この期間の木造は昨年同期より690戸減少し、木造率は2%増加した。



出典：国土交通省「住宅着工統計」

# ■ 東北森林管理局管内5県の新設産業用建築物着工棟数の推移 (平成27年1月～令和元年6月)

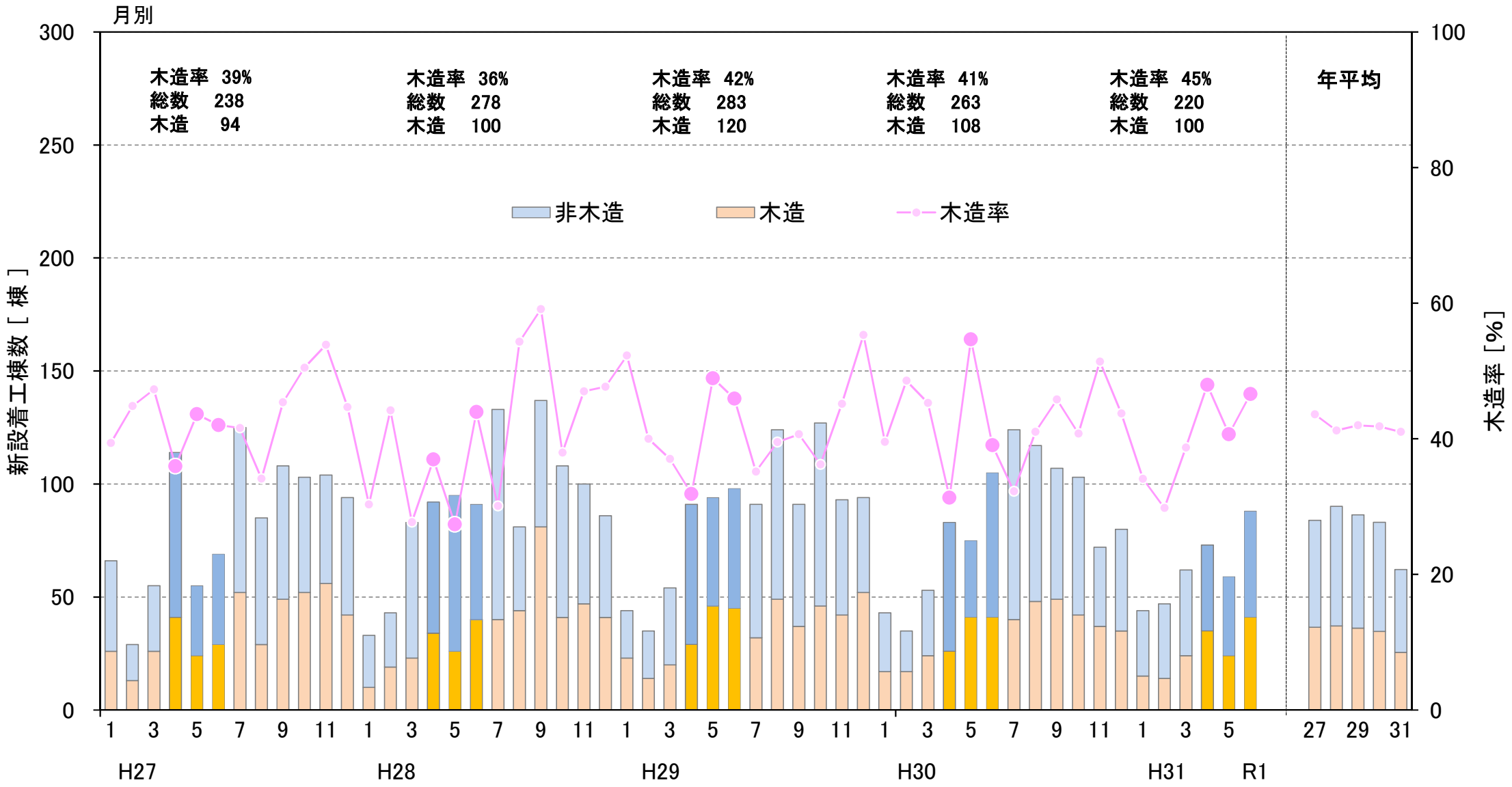
○ 東北5県の令和元年度4～6月期の新設産業用建築物着工棟数は、昨年同期より100棟減少した。この期間の木造は昨年同期より25棟減少し、木造率は1%増加した。



出典：国土交通省「住宅着工統計」

# 青森県の新設産業用建築物着工棟数の推移 (平成27年1月～令和元年6月)

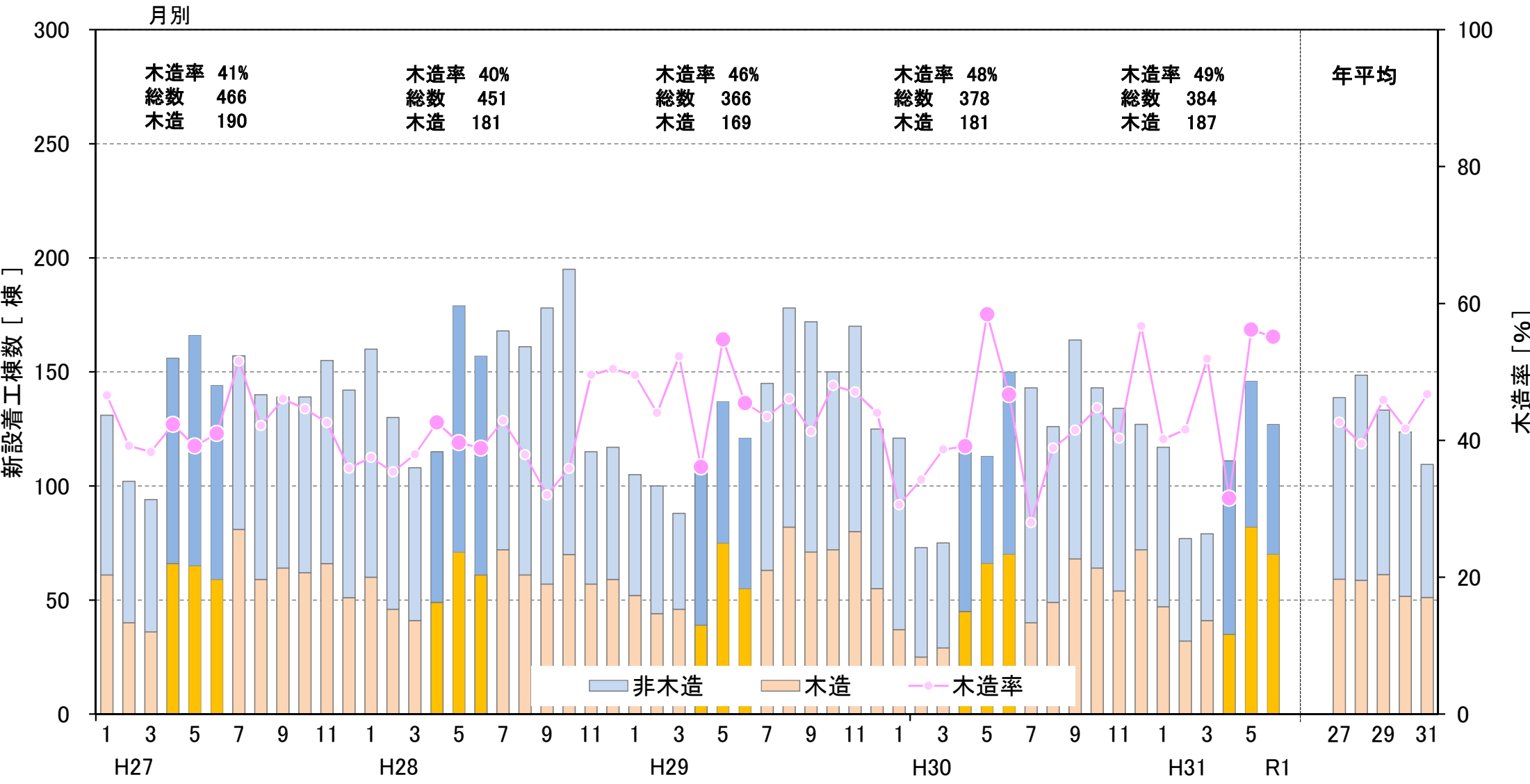
○ 青森県の令和元年度4～6月期の新設産業用建築物着工棟数は、昨年同期より43棟減少した。この期間の木造は昨年同期より8棟減少し、木造率は4%増加した。



出典：国土交通省「住宅着工統計」

# ■ 岩手県の新設産業用建築物着工棟数の推移 (平成27年1月～令和元年6月)

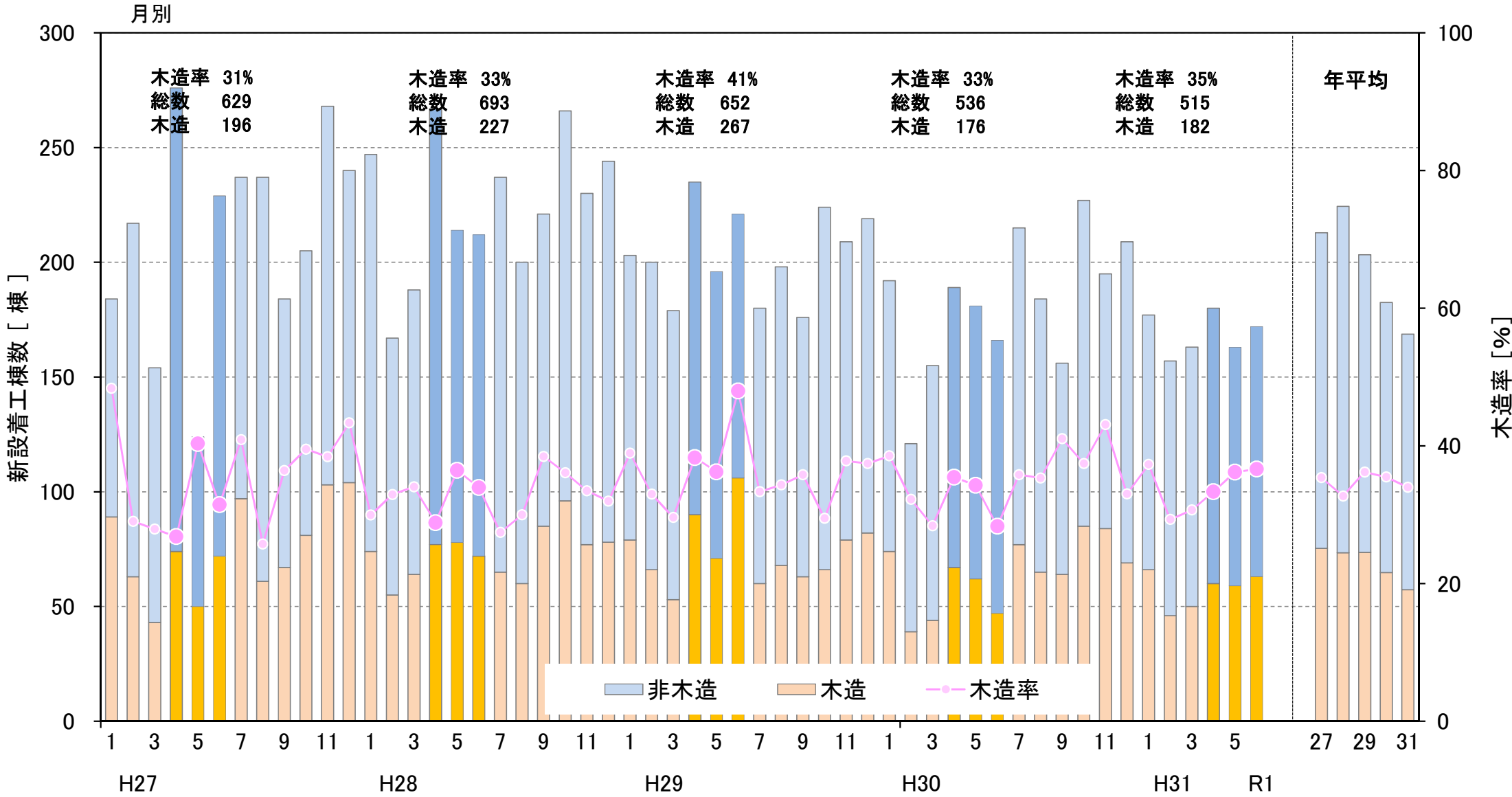
○ 岩手県の令和元年度4～6月期の新設産業用建築物着工棟数は、昨年同期より6棟増加した。  
 この期間の木造は昨年同期より6棟増加し、木造率は1%増加した。



出典：国土交通省「住宅着工統計」

# 宮城県の新設産業用建築物着工棟数の推移 (平成27年1月～令和元年6月)

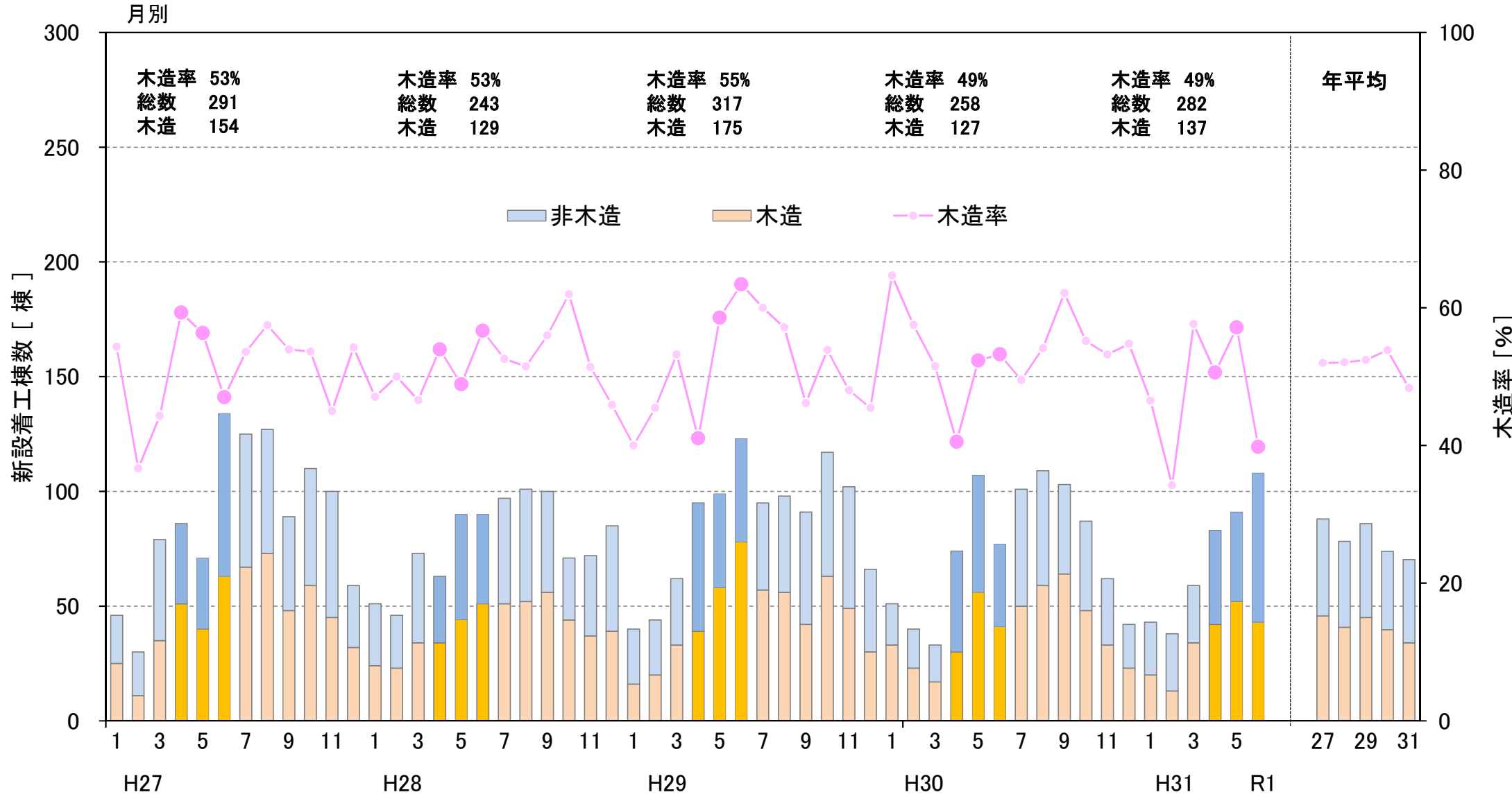
○ 宮城県の令和元年度4～6月期の新設産業用建築物着工棟数は、昨年同期より21棟減少した。この期間の木造は昨年同期より6棟増加し、木造率は2%増加した。



出典：国土交通省「住宅着工統計」

# ■ 秋田県の新設産業用建築物着工棟数の推移 (平成27年1月～令和元年6月)

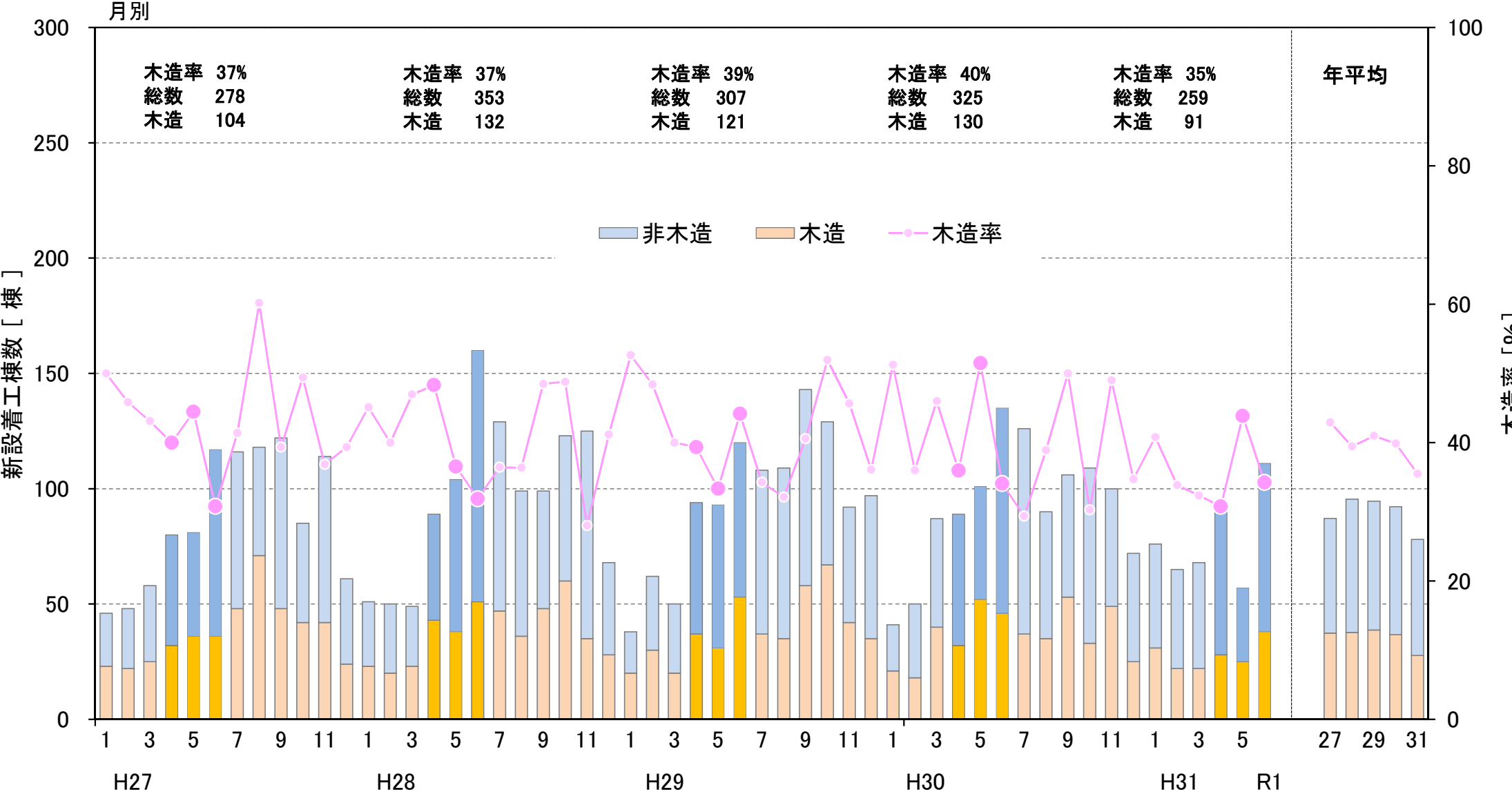
○ 秋田県の令和元年度4～6月期の新設産業用建築物着工棟数は、昨年同期より24棟増加した。この期間の木造は昨年同期より10棟増加し、木造率に変化かはなかった。



出典：国土交通省「住宅着工統計」

# 山形県の新設産業用建築物着工棟数の推移 (平成27年1月～令和元年6月)

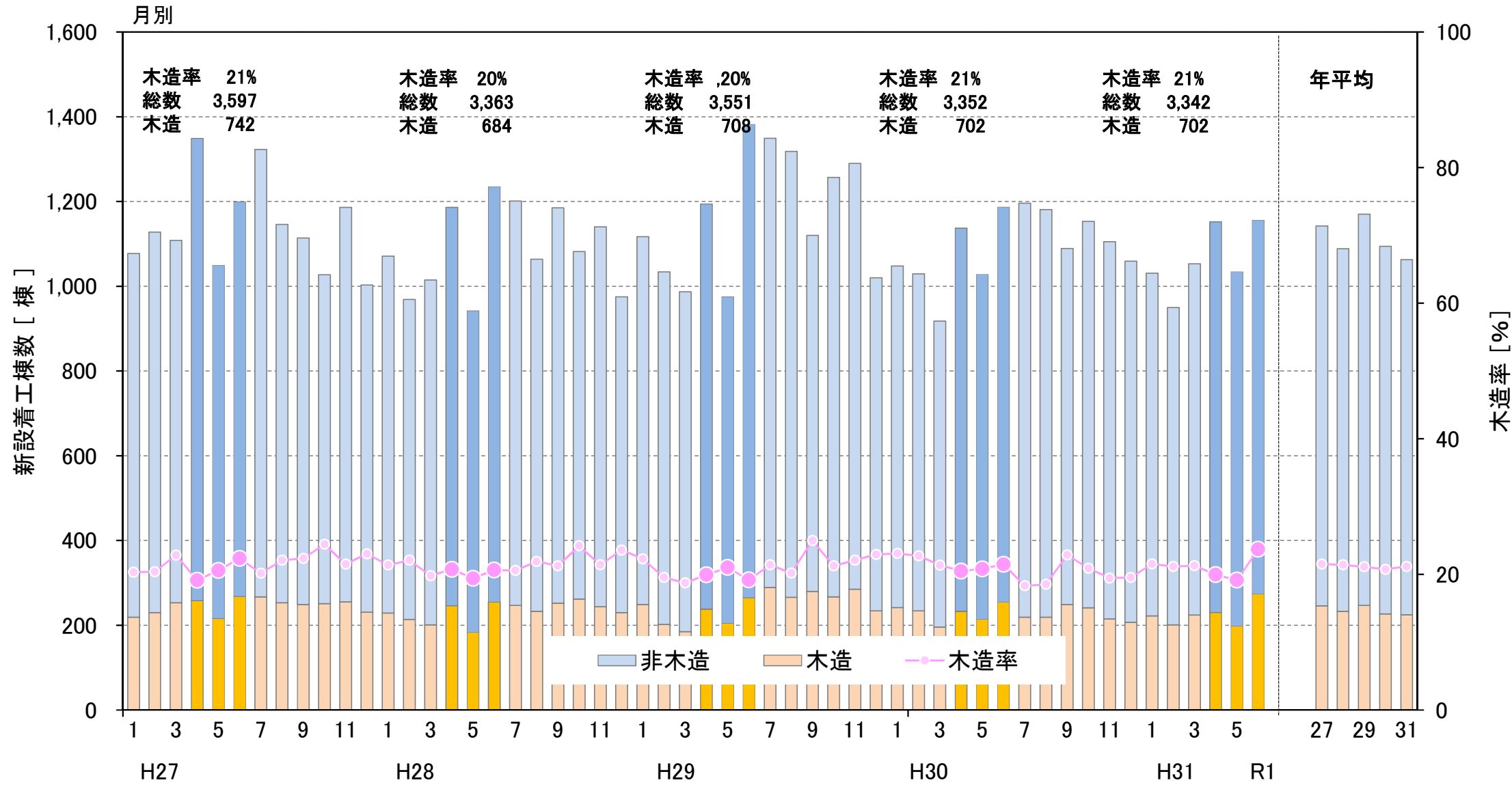
○ 山形県の令和元年度4～6月期の新設産業用建築物着工棟数は、昨年同期より66棟減少した。  
 この期間の木造は昨年同期より39棟減少し、木造率は5%減少した。



出典：国土交通省「住宅着工統計」

# ■ 埼玉、千葉、東京、神奈川の新設産業用建築物着工棟数の推移 (平成27年1月～令和元年6月)

○ 関東主要都市の令和元年度4～6月期の新設産業用建築物着工棟数は、昨年同期より10棟減少した。この期間の木造は昨年同期と同数で、木造率に変化はなかった。

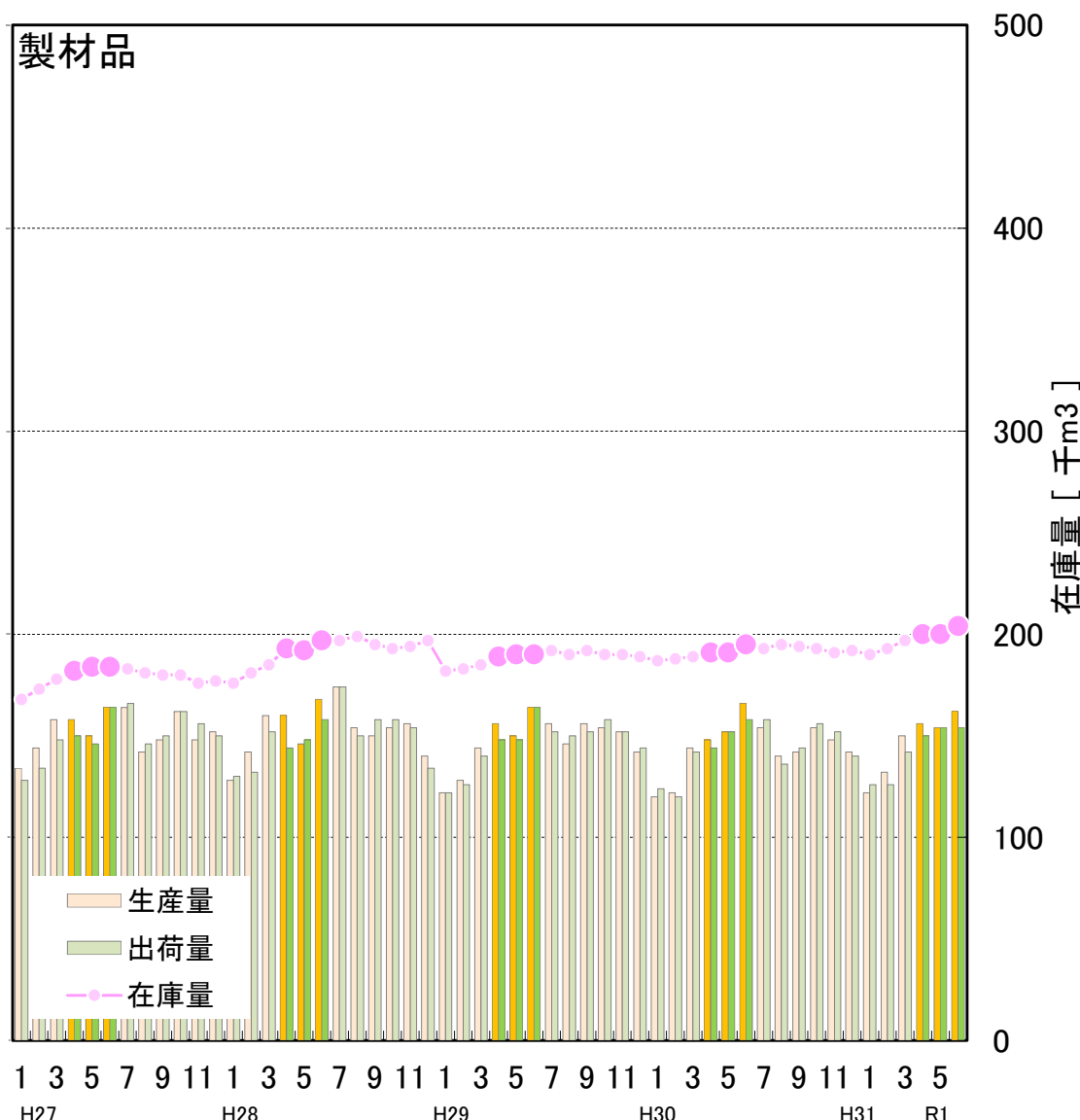
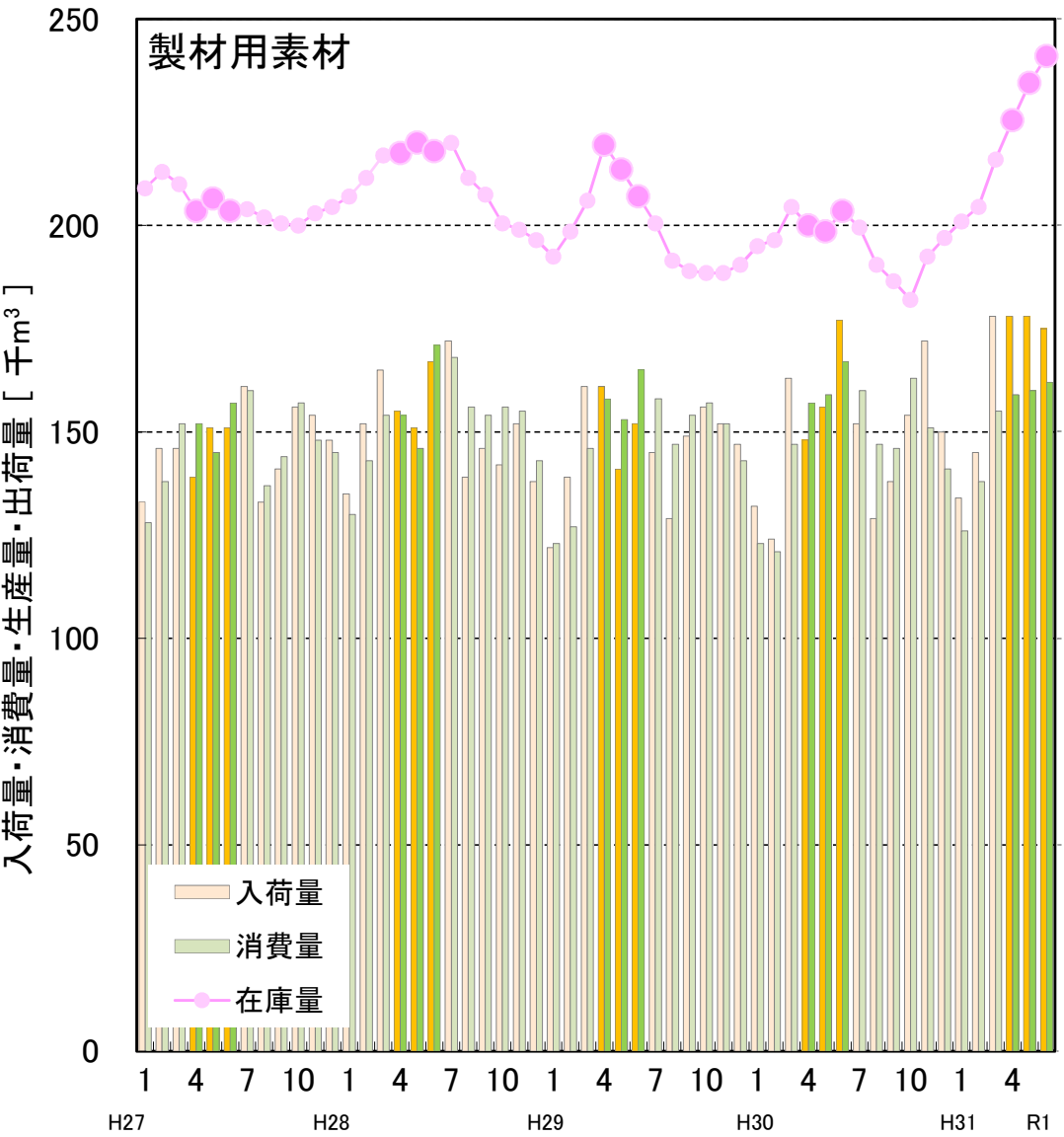


出典：国土交通省「住宅着工統計」



# ■ 東北5県の製材用素材・製材品の生産量等の推移(平成27年1月～令和元年6月)

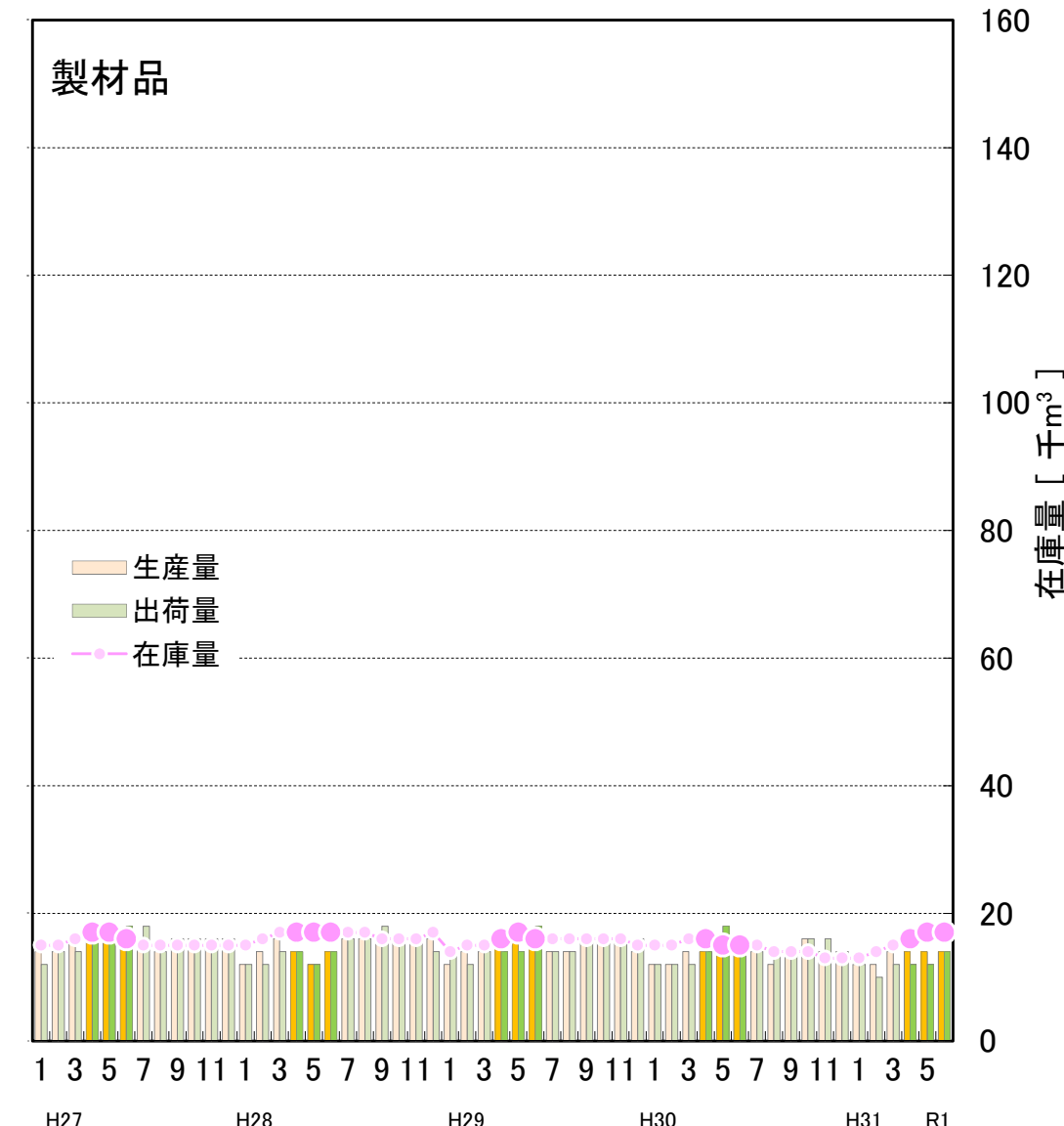
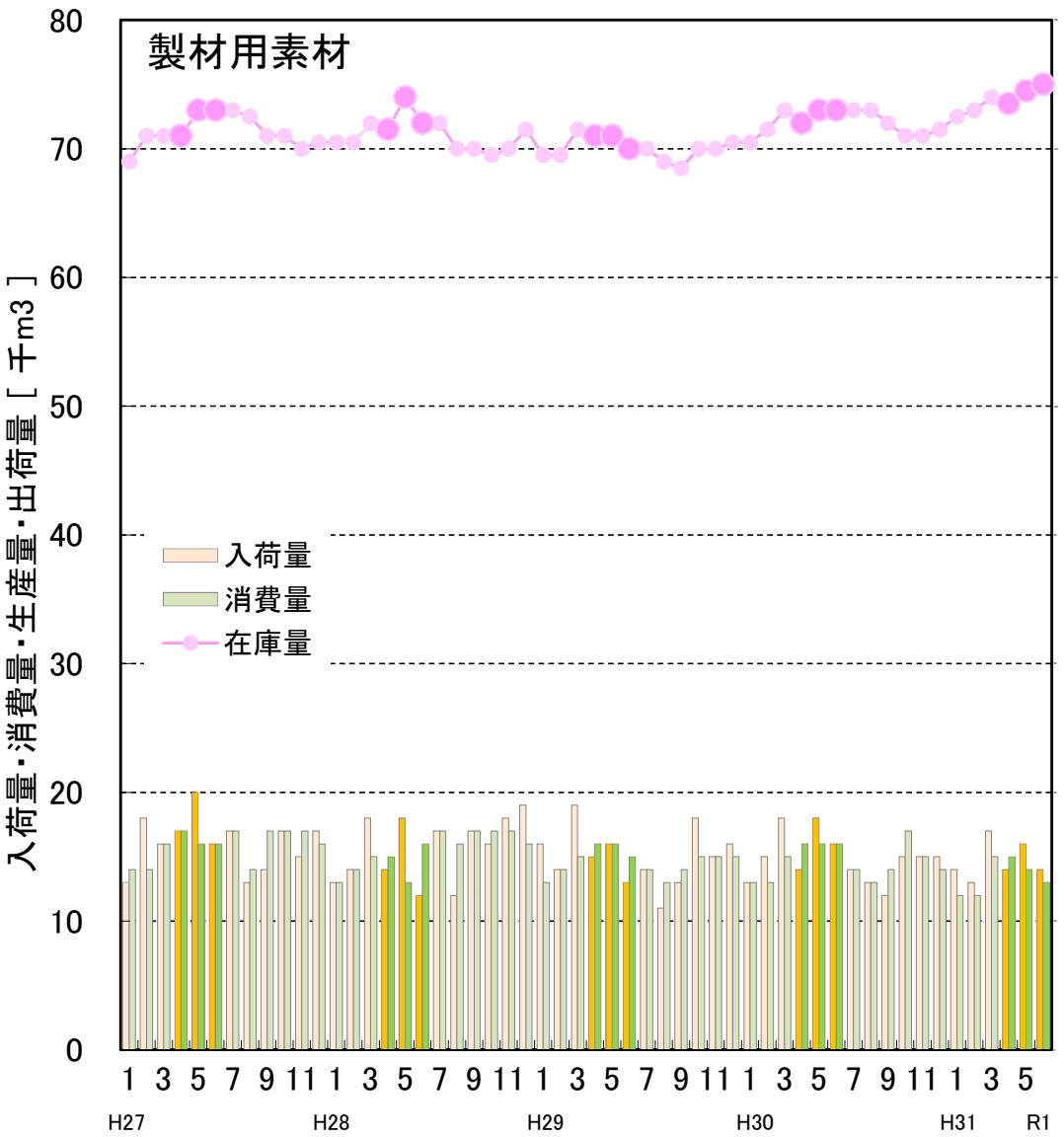
○ 製材用素材の令和元年度4～6月の入荷量は昨年同期比+10%、消費量は±0%、在庫量は6月比+18%。  
 ○ 製材品の令和元年度4～6月の生産量は昨年同期比+1%、出荷量は+1%、在庫量は6月比+5%。



出典：農林水産省「木材需給報告書」、「製材統計」

# 青森県の製材用素材・製材品の生産量等の推移(平成27年1月～令和元年6月)

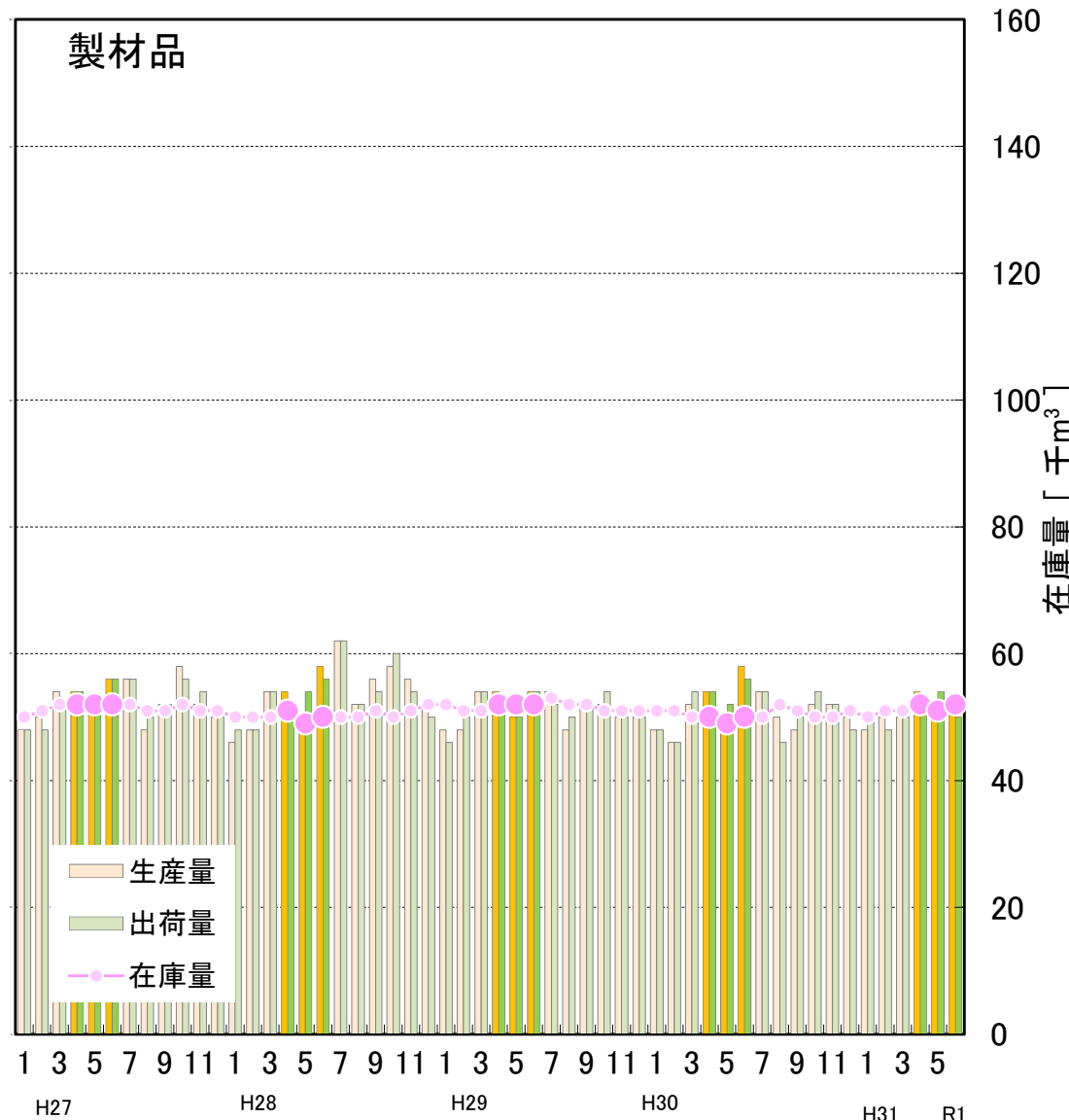
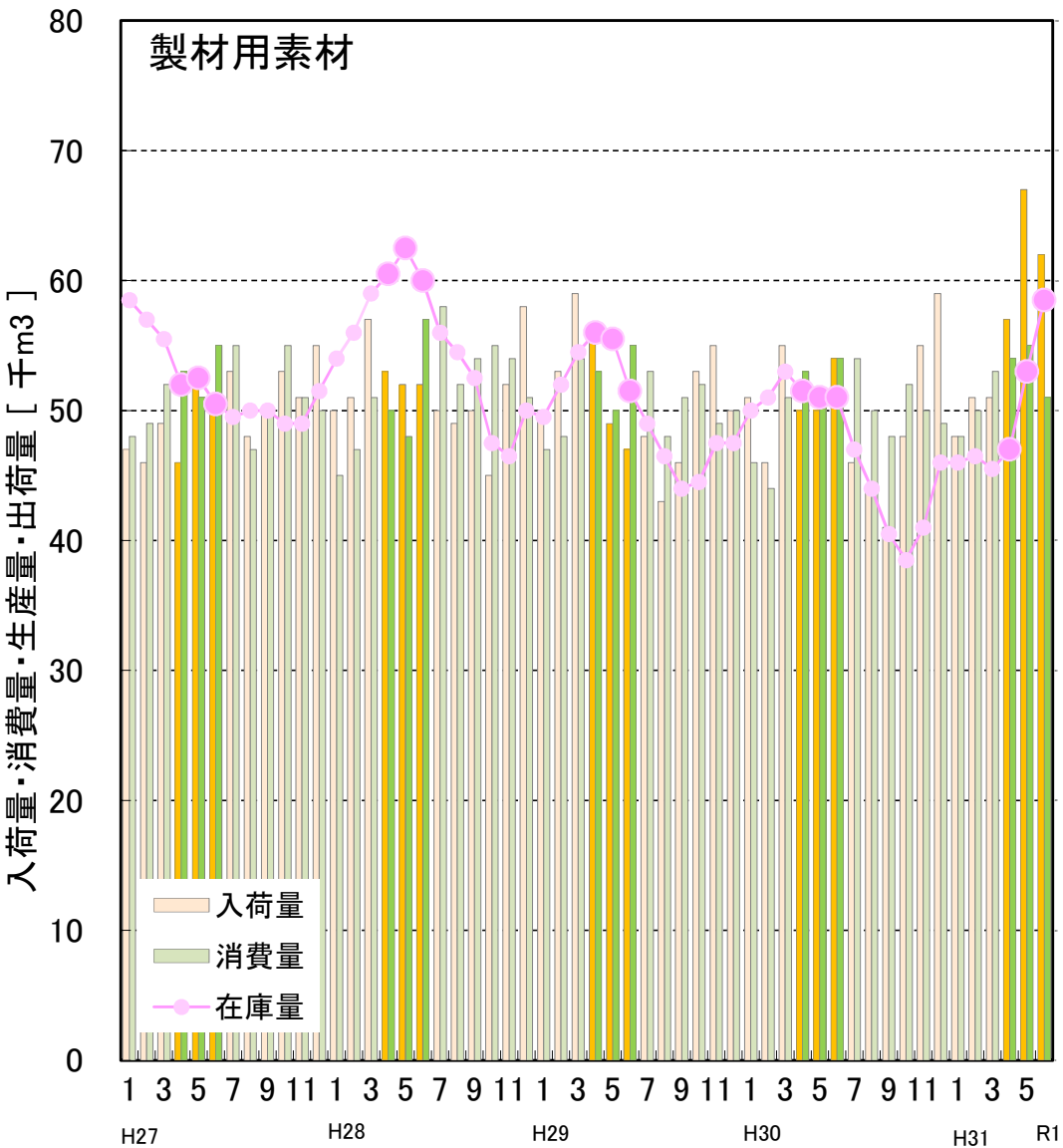
- 製材用素材の令和元年度4～6月の入荷量は昨年同期比-8%、消費量は-12%、在庫量は6月比+3%。
- 製材品の令和元年度4～6月の生産量は昨年同期比-9%、出荷量は-21%、在庫量は6月比+13%。



出典：農林水産省「木材需給報告書」、「製材統計」

# ■ 岩手県の製材用素材・製材品の生産量等の推移(平成27年1月～令和元年6月)

- 製材用素材の令和元年度4～6月の入荷量は昨年同期比+21%、消費量は+1%、在庫量は6月比+15%。
- 製材品の令和元年度4～6月の生産量は昨年同期比-2%、出荷量は-4%、在庫量は6月比+4%。

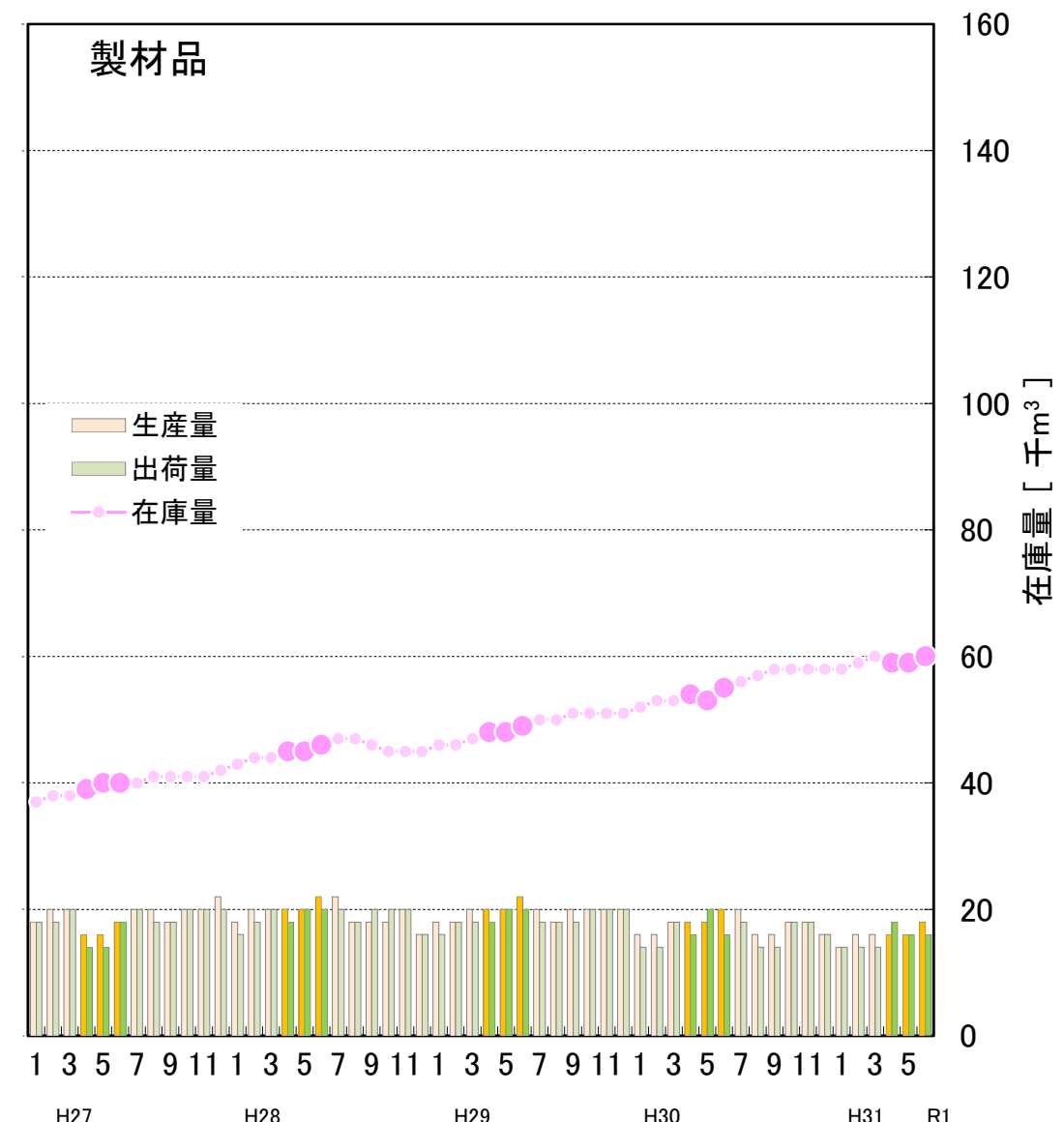
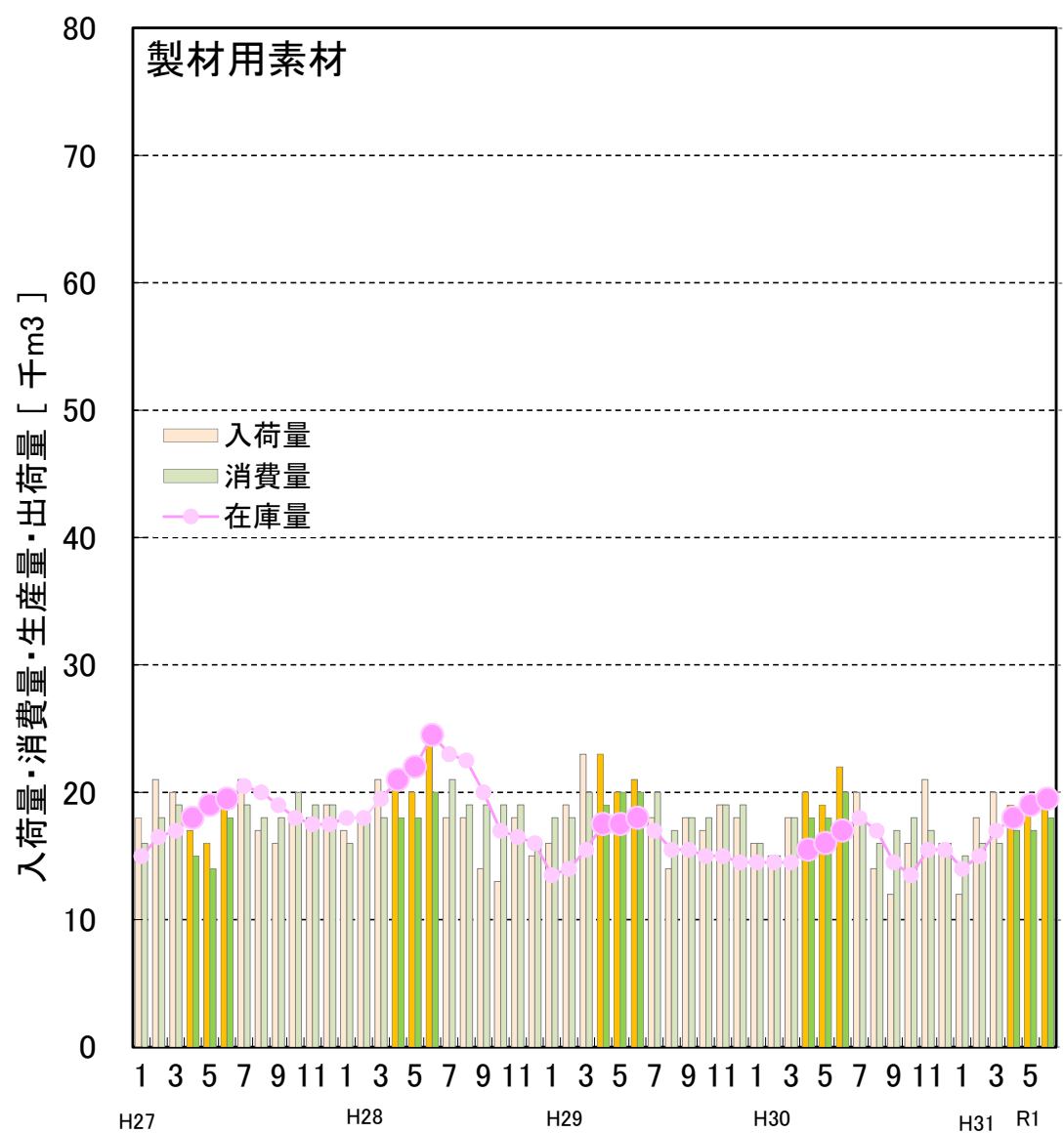


出典：農林水産省「木材需給報告書」、「製材統計」

※ 国産材と外材の合計値。

# 宮城県の製材用素材・製材品の生産量等の推移(平成27年1月～令和元年6月)

- 製材用素材の令和元年度4～6月の入荷量は昨年同期比-7%、消費量は-7%、在庫量は6月比+15%。
- 製材品の令和元年度4～6月の生産量は昨年同期比-11%、出荷量は-4%、在庫量は6月比+9%。

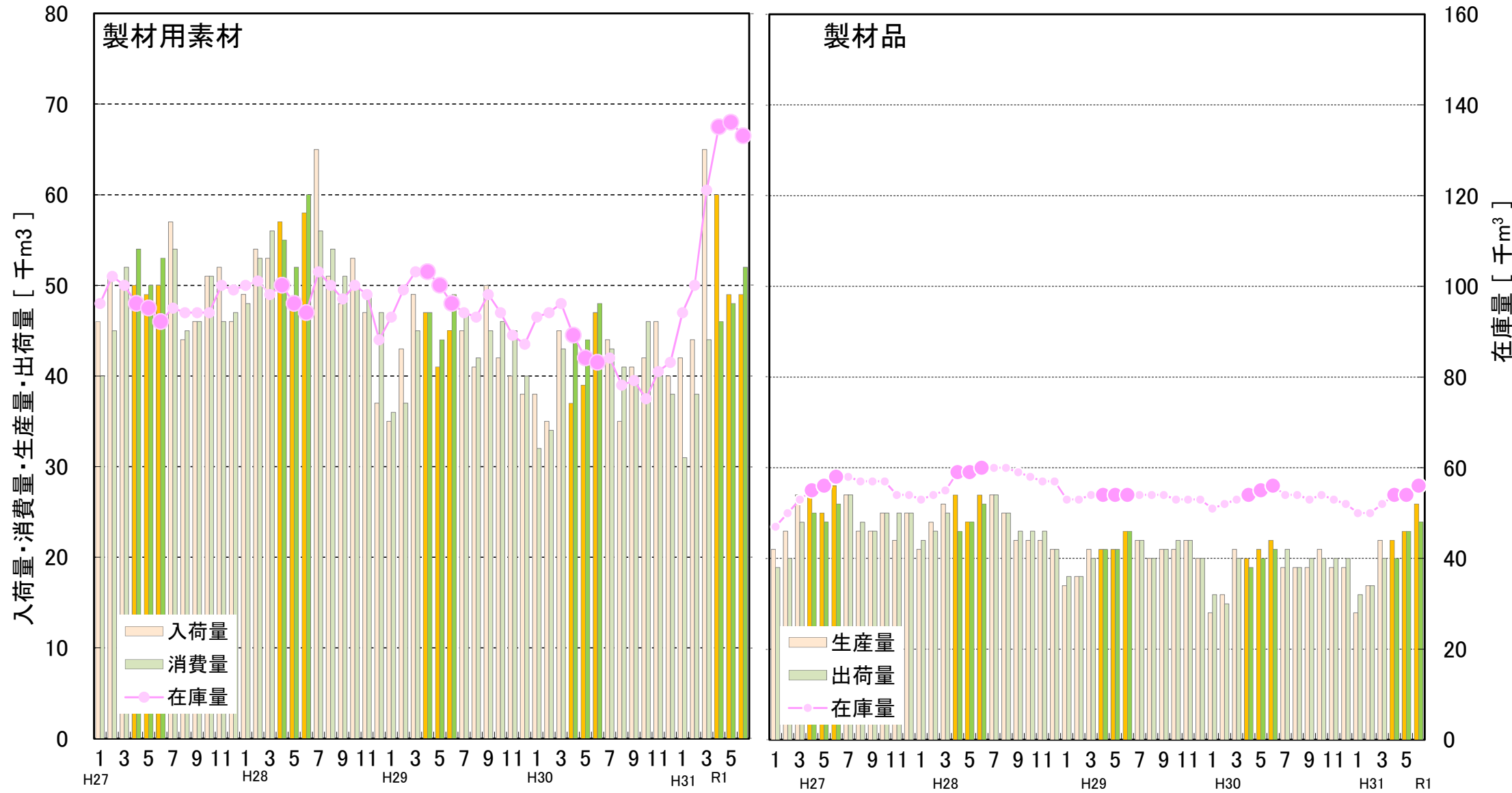


出典：農林水産省「木材需給報告書」、「製材統計」

※ 国産材と外材の合計値。

# ■ 秋田県の製材用素材・製材品の生産量等の推移(平成27年1月～令和元年6月)

- 製材用素材の令和元年度4～6月の入荷量は昨年同期比+28%、消費量は+7%、在庫量は6月比+60%。
- 製材品の令和元年度4～6月の生産量は昨年同期比+13%、出荷量は+12%、在庫量は6月比±0%。

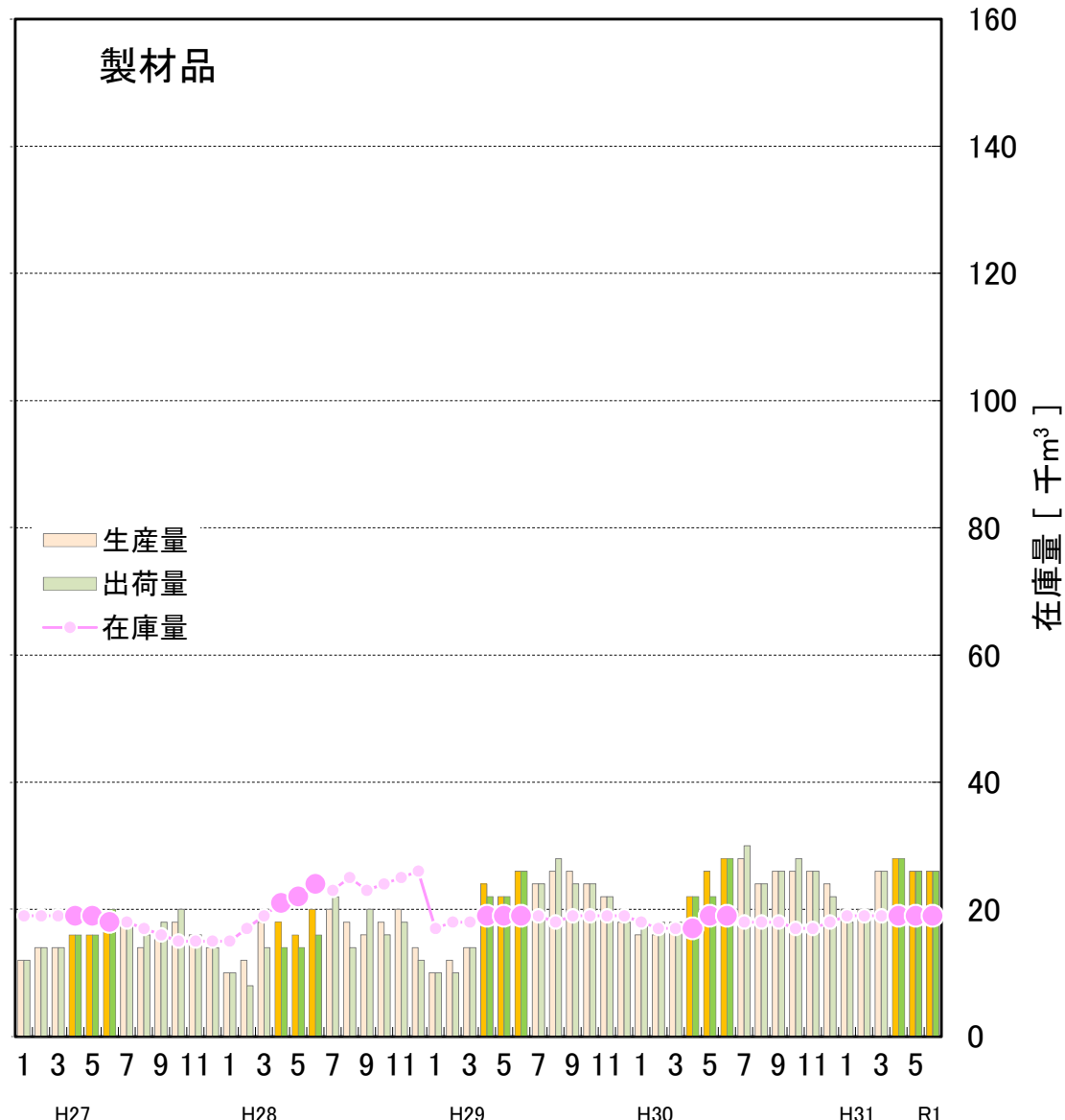
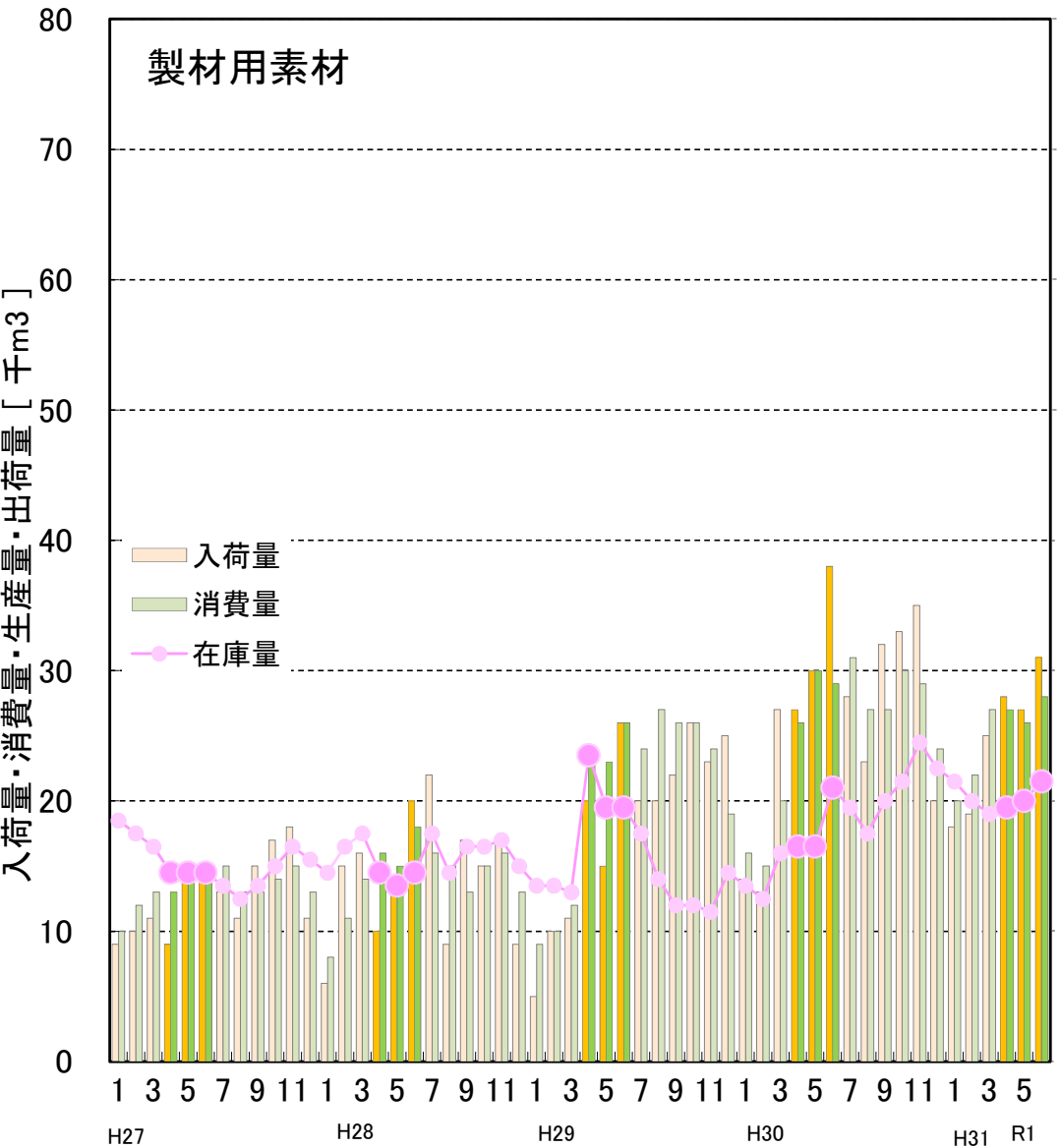


出典：農林水産省「木材需給報告書」、「製材統計」

※ 国産材と外材の合計値。

# 山形県の製材用素材・製材品の生産量等の推移(平成27年1月～令和元年6月)

○ 製材用素材の令和元年度4～6月の入荷量は昨年同期比-9%、消費量は-5%、在庫量は6月比+2%。  
 ○ 製材品の令和元年度4～6月の生産量は昨年同期比+5%、出荷量は+11%、在庫量は6月比±0%。

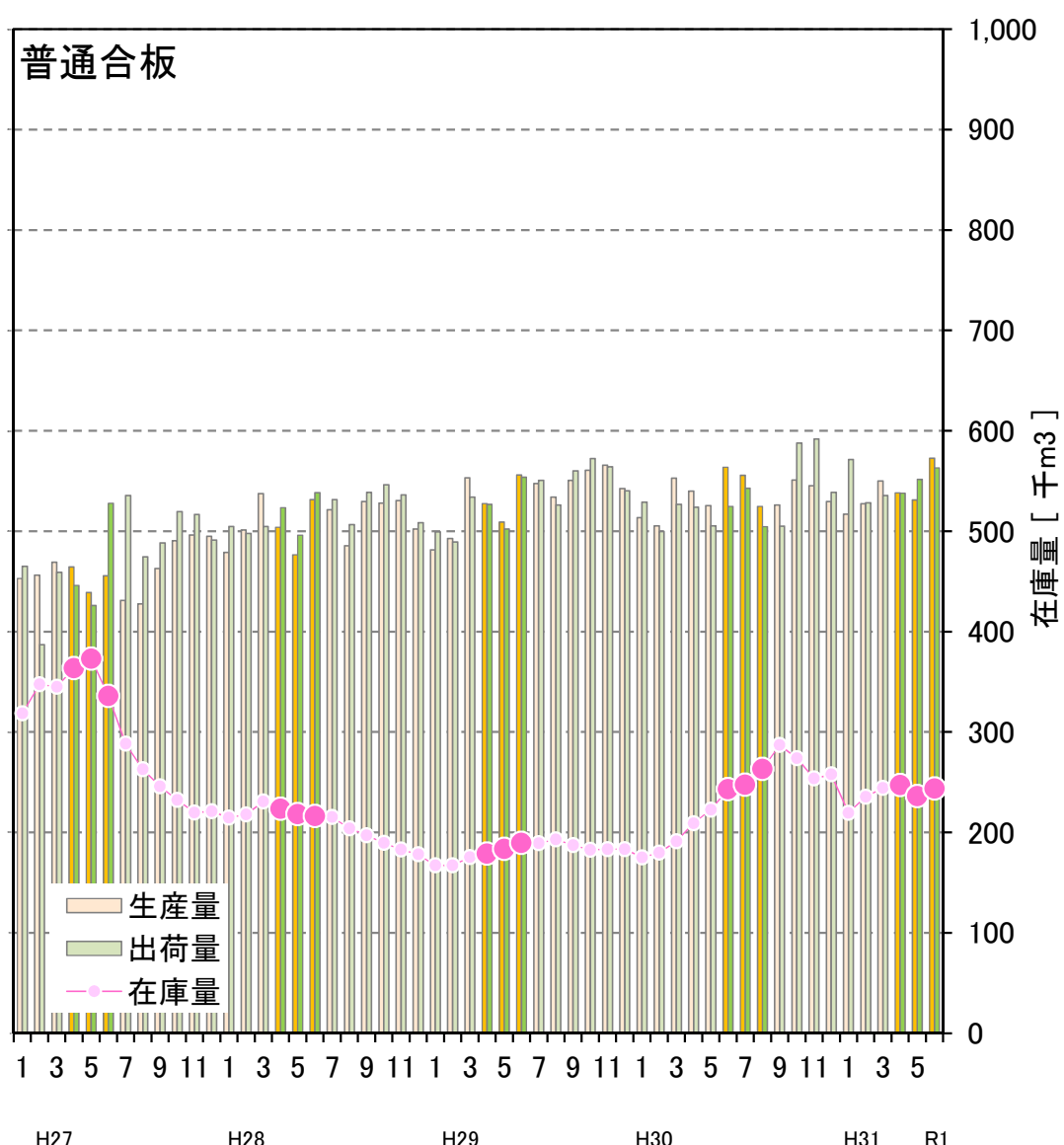
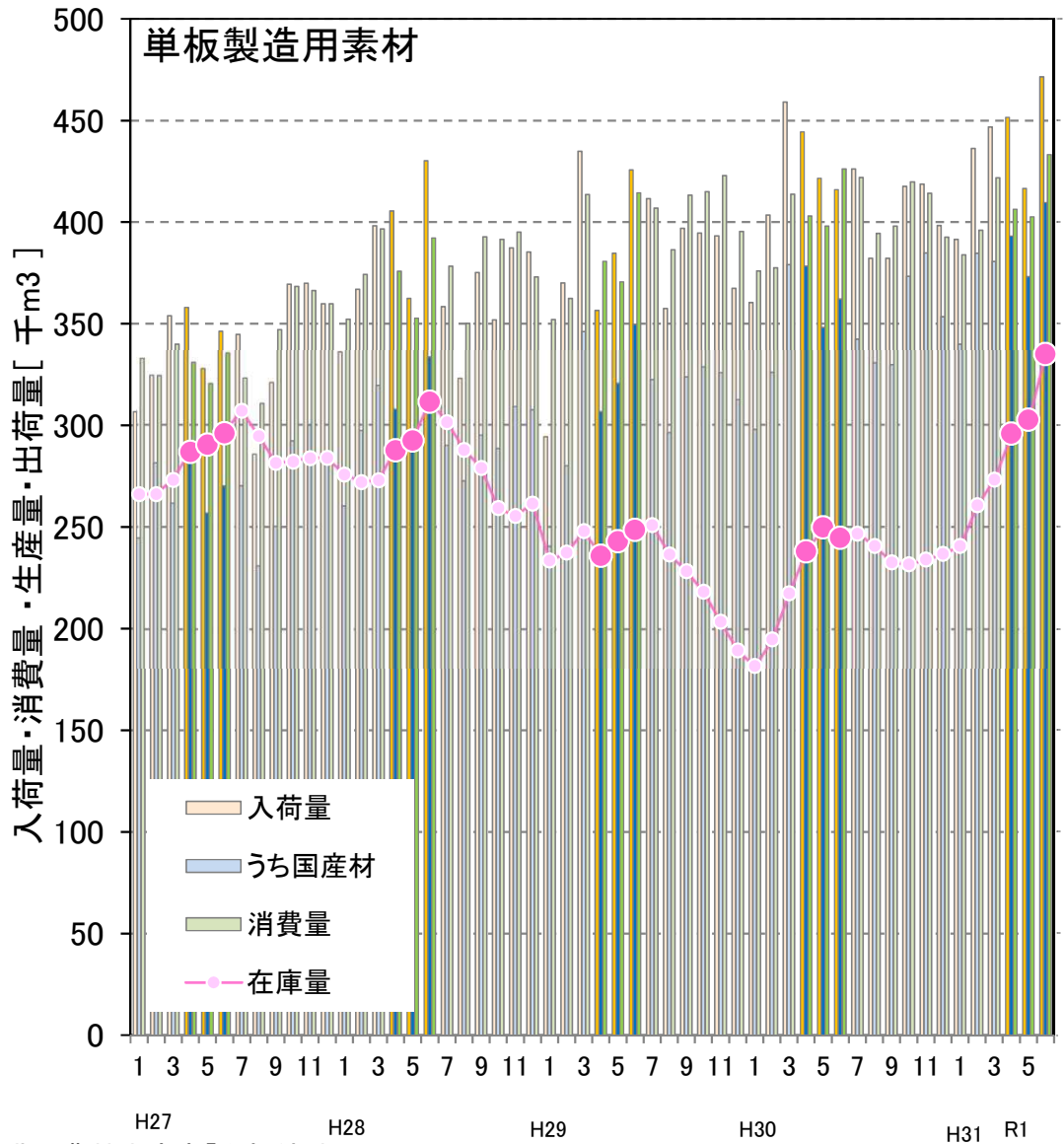


出典：農林水産省「木材需給報告書」、「製材統計」

※ 国産材と外材の合計値。

# ■ 全国の単板製造用素材・普通合板の入荷量等の推移(平成27年1月～令和元年6月)

- 単板製材用素材の令和元年度4～6月期の入荷量は昨年同期比+4%、うち国産材は+8%、消費量は+1%、在庫量は6月比+37%。
- 普通合板の令和元年度4～6月期の生産量は昨年同期比+1%、出荷量は+6%、在庫量は6月比±0%

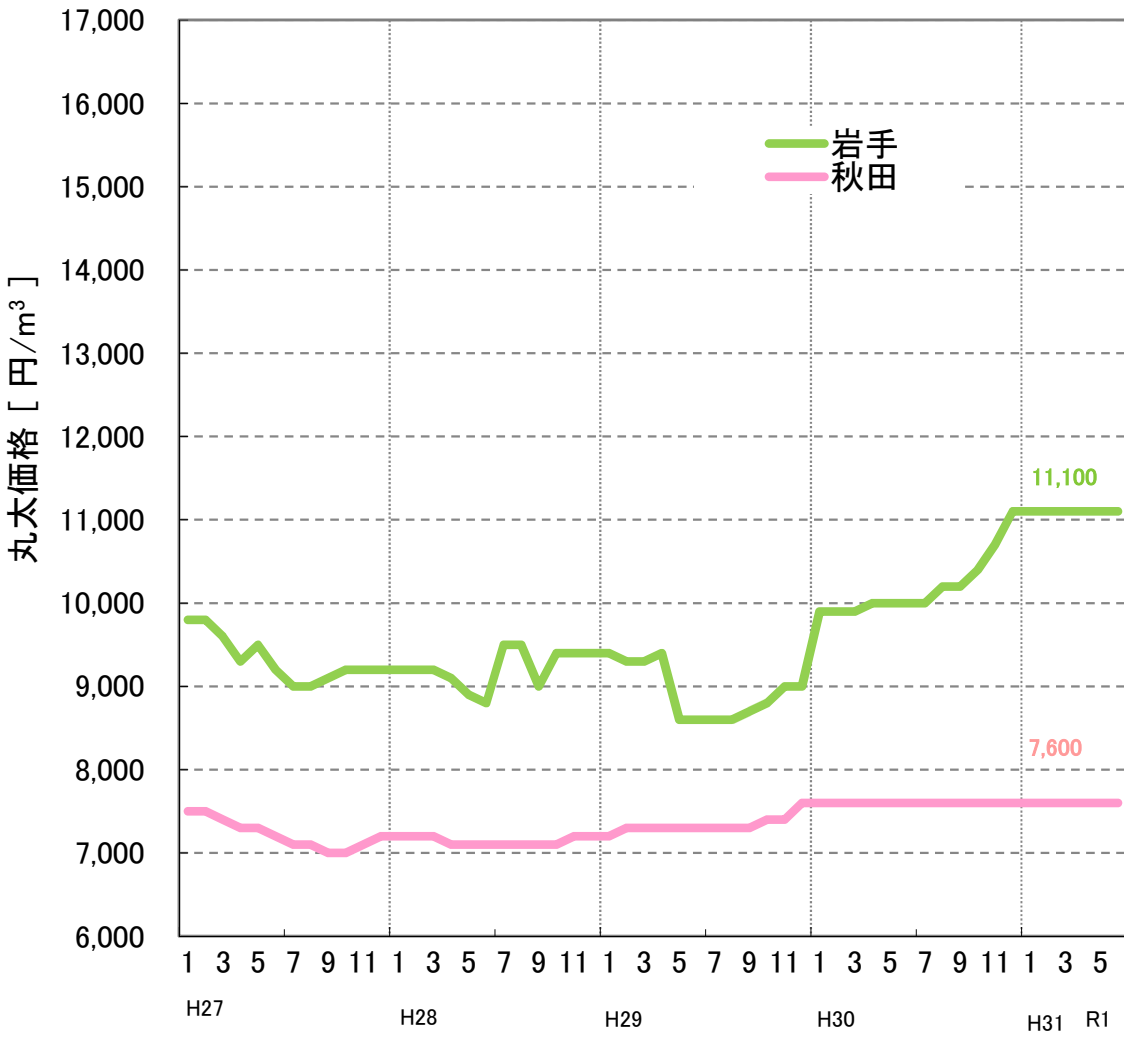


出典：農林水産省「合板統計」  
 ※単板製造用素材の集計値は令和元年6月に、普通合板の集計値は平成31年1月及び令和元年6月に調査対象工場の見直しがあったため、その先月の数値とは接続しない。

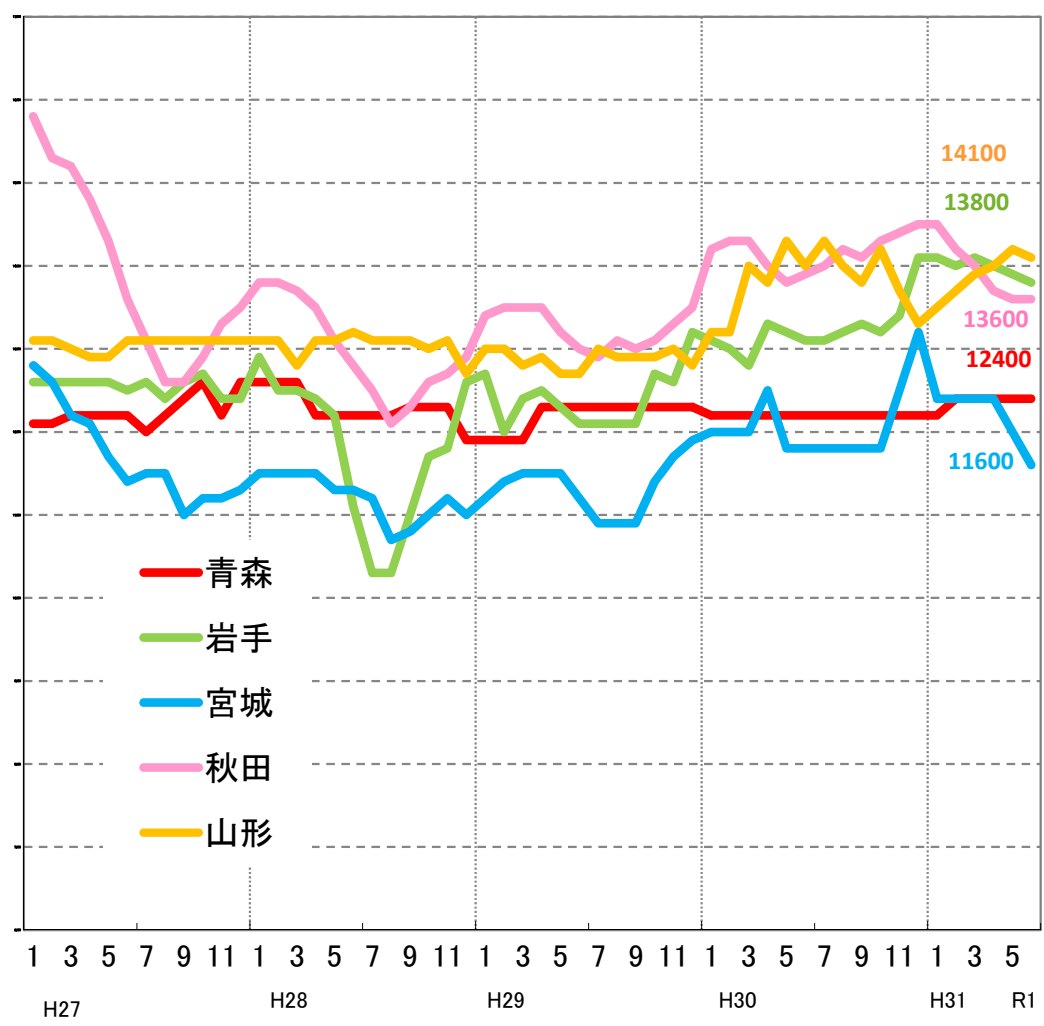
# ■ すぎ丸太価格の推移(平成27年1月～令和元年6月)

- すぎ小丸太価格は、岩手・秋田とも保合で推移。
- すぎ中丸太価格は、岩手・宮城が弱含み、その他の県は概ね保合で推移。

すぎ小丸太 3.65～4.00m (8～13cm)



すぎ中丸太 3.65～4.00m (24～28cm)



出典：農林水産省「木材需給報告書」、「木材価格」  
 ※ 価格は工場着価格。  
 ※ 平成30年1月から調査対象工場の見直しがあったため、平成29年12月以前の数値とは接続しない。

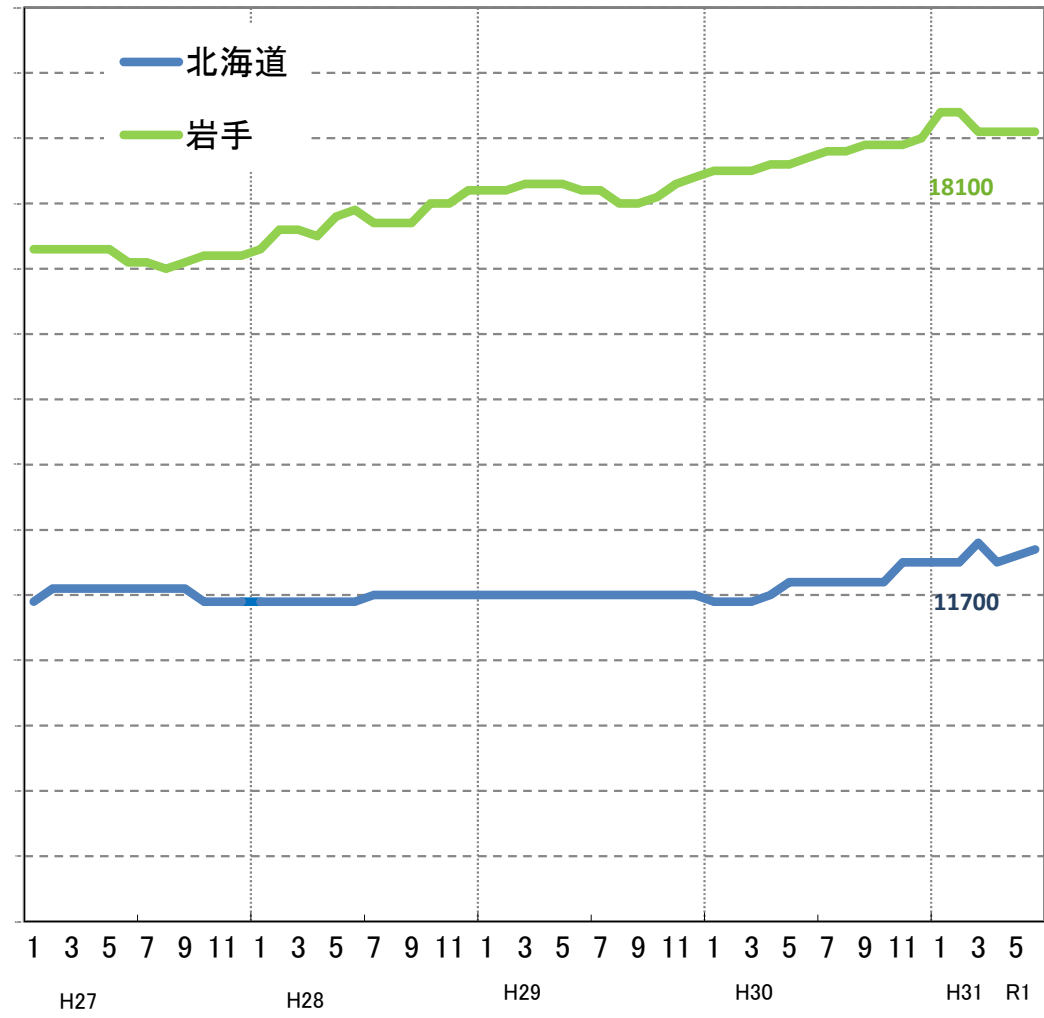
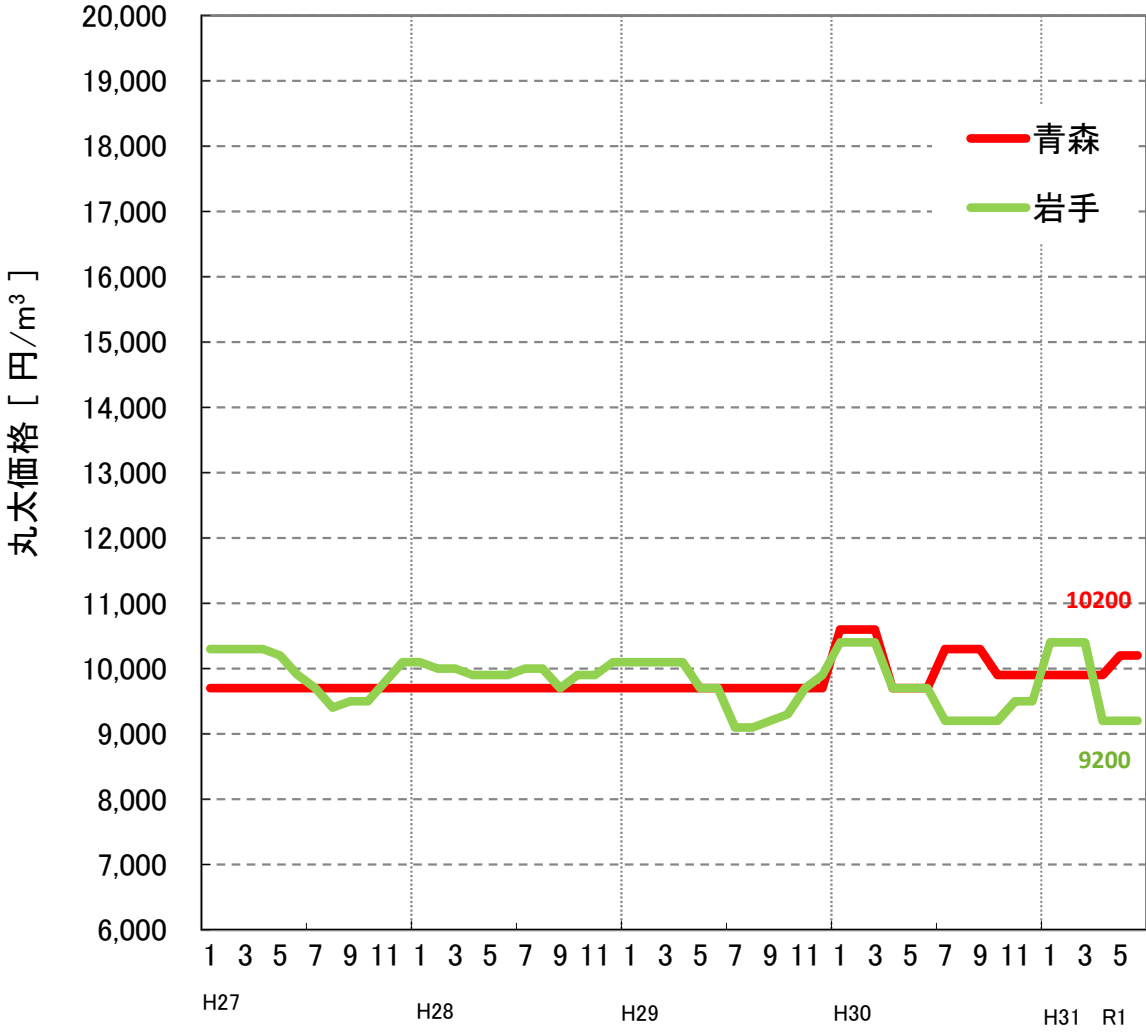


# ■ まつ・からまつ丸太価格の推移(平成27年1月～令和元年6月)

- まつ中丸太価格は、青森・岩手とも保合で推移。
- からまつ中丸太価格は、岩手は保合。北海道との価格差は6,400円。

まつ中丸太 3.65～4.00m (24～28cm)

からまつ中丸太 3.65～4.00m (24～28cm)

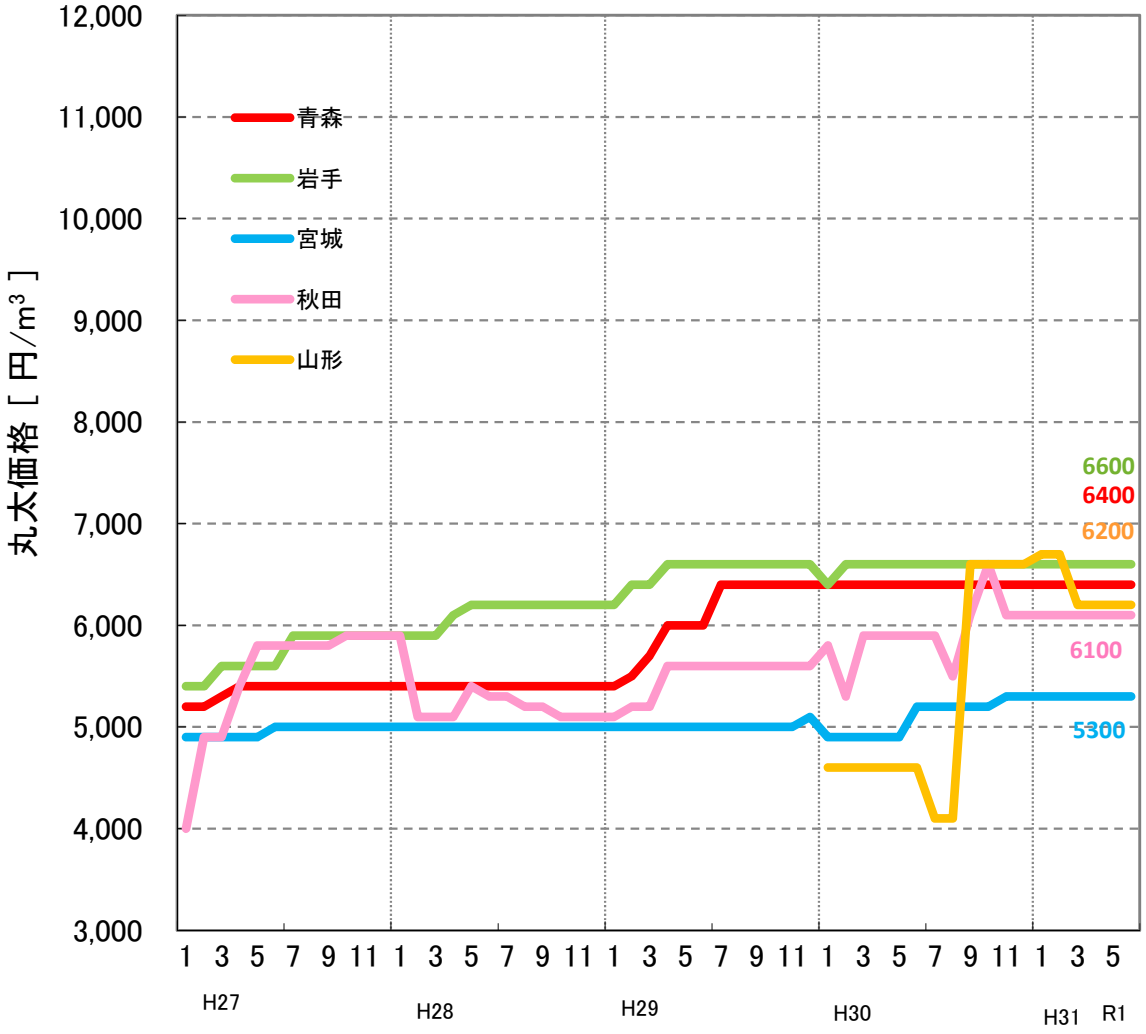


出典：農林水産省「木材需給報告書」、「木材価格」  
 ※ 価格は工場着価格。  
 ※ 平成30年1月から調査対象工場の見直しがあったため、平成29年12月以前の数値とは接続しない。

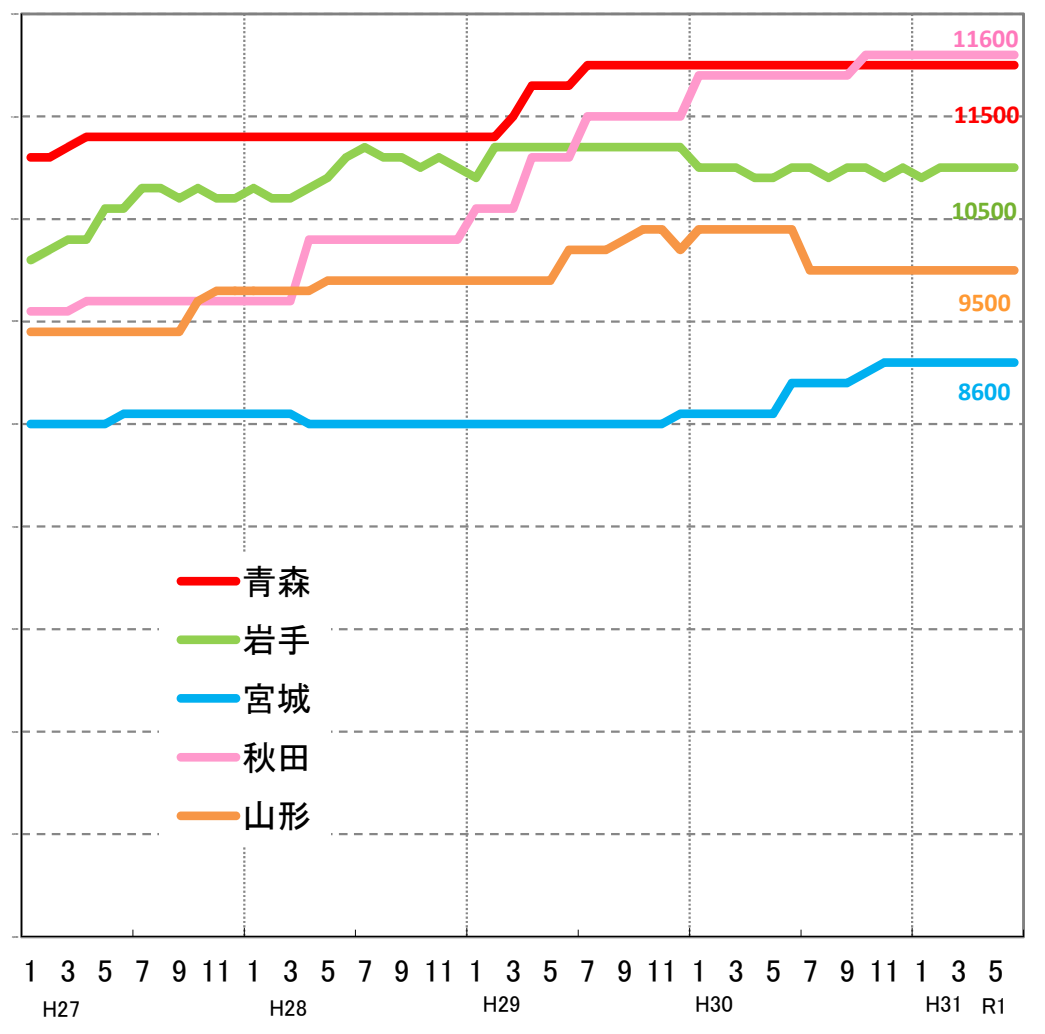
# ■ チップ用丸太価格の推移(平成27年1月～令和元年6月)

○ 針葉樹・広葉樹丸太とも全県で保合で推移。

### 針葉樹材



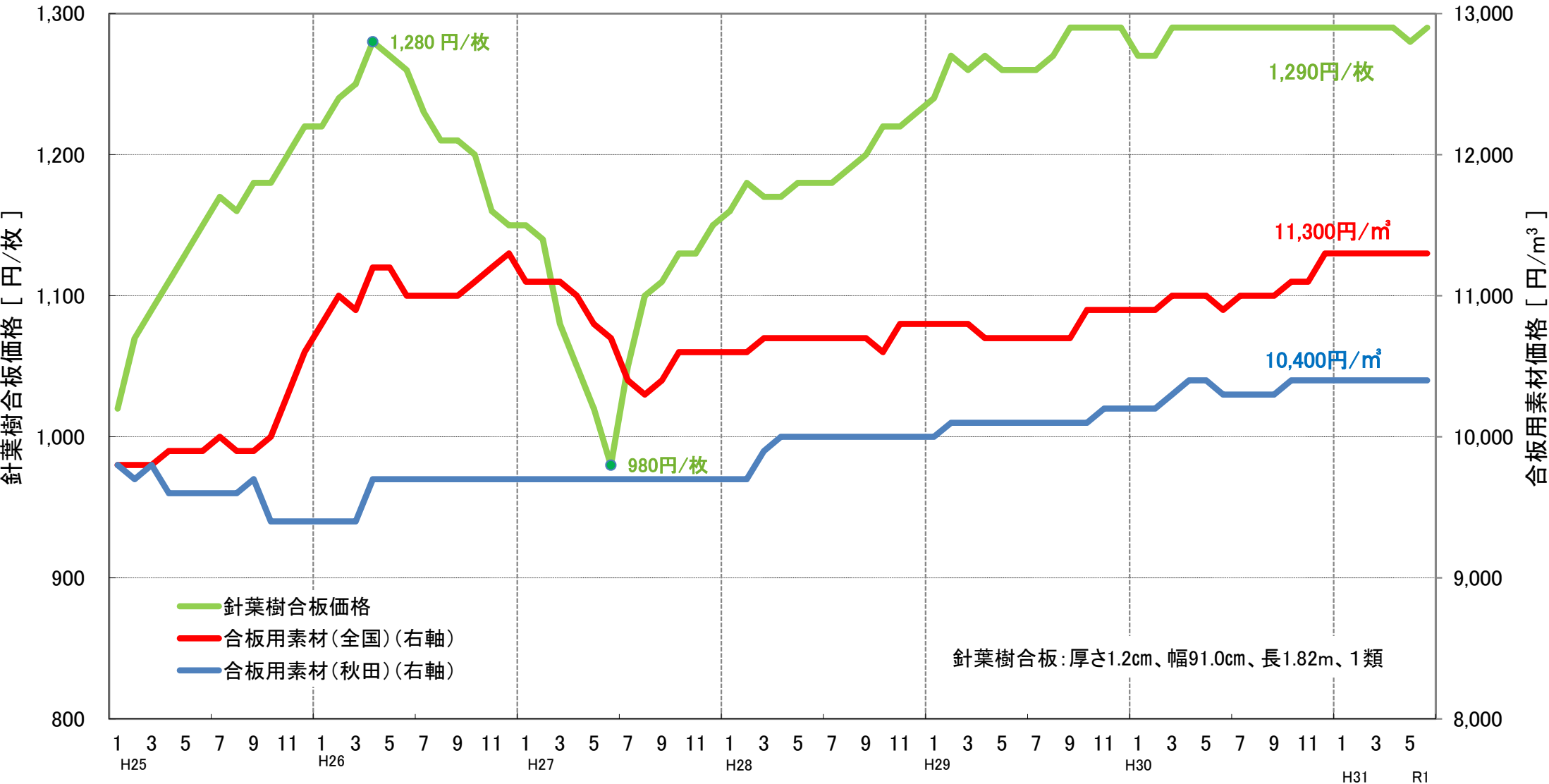
### 広葉樹材



出典：農林水産省「木材需給報告書」、「木材価格」  
 ※ 価格は工場着価格。  
 ※ 平成30年1月から調査対象工場の見直しがあったため、平成29年12月以前の数値とは接続しない。

# 針葉樹合板及び合板用素材価格の推移(平成25年1月～令和元年6月)

○ 針葉樹合板価格は1,290円/枚。  
 ○ 合板用素材価格は保合で推移。全国との価格差は900円。

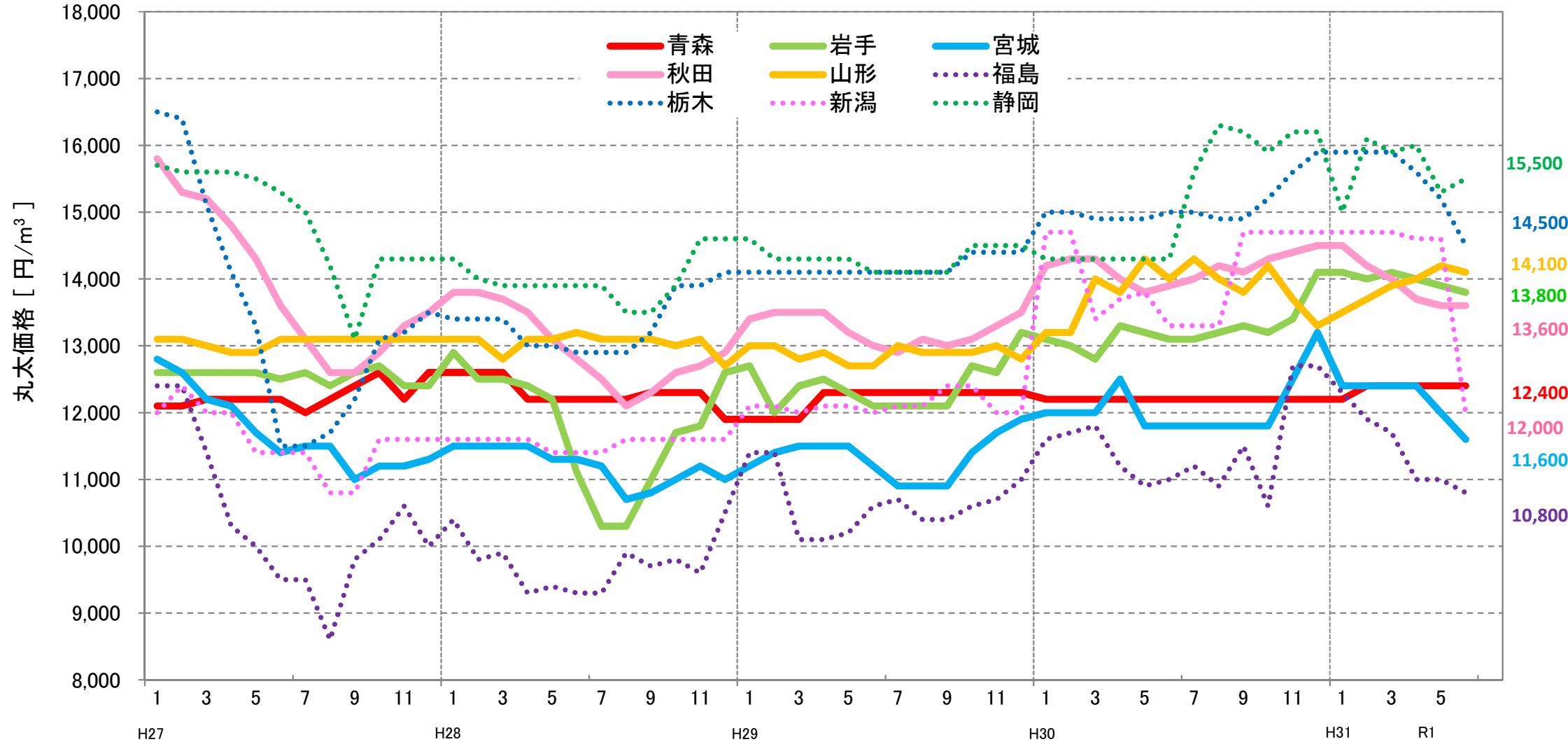


出典：農林水産省「木材需給報告書」、「木材価格」  
 ※ 針葉樹合板価格は、木材市売市場、木材センター及び木材卸売業者における小売業者への店頭渡し価格。合板用素材価格は、合単板工場着購入価格である。

# ■ 関東地方との木材価格の比較(平成27年1月～令和元年6月)

○ 東北5県では岩手・宮城・秋田が値下がり傾向、青森・山形は概ね保合で推移。  
 ○ 福島・新潟では値下がり傾向。

すぎ中丸太 3.65～4.00m (24～28cm)



出典：農林水産省「木材需給報告書」、「木材価格」  
 ※ 価格は工場着価格  
 ※ 平成30年1月から調査対象工場の見直しがあったため、平成29年12月以前の数値とは接続しない。

# ■ 関東、関西、九州地方との木材価格の比較(平成27年1月～令和元年6月)

○ いずれも値下がり傾向。  
 ○ 秋田と栃木では価格差が900円。

すぎ中丸太3.65～4.00m(24～28cm)

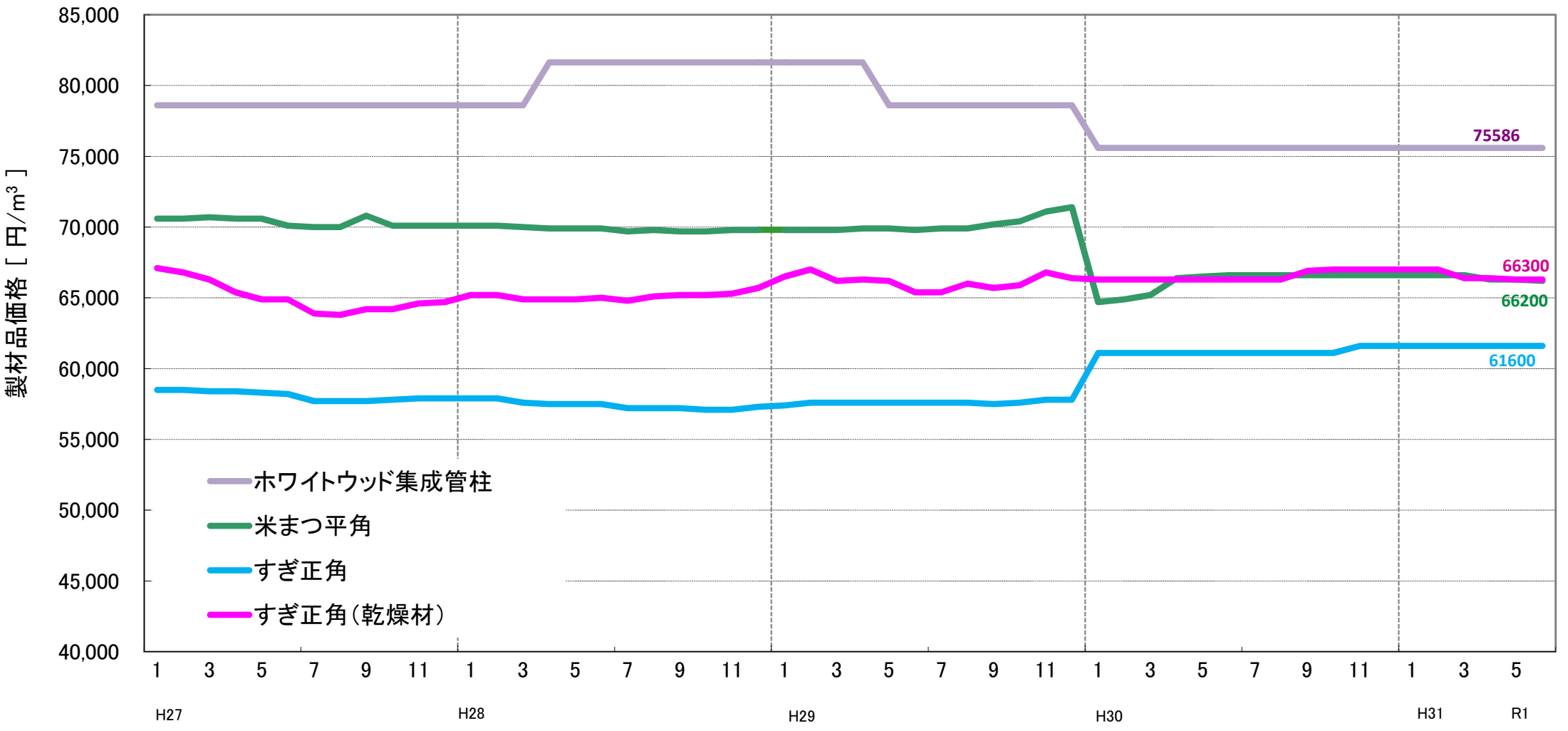


出典：農林水産省「木材需給報告書」、「木材価格」  
 ※ 価格は工場着価格  
 ※ 平成30年1月から調査対象工場の見直しがあったため、平成29年12月以前の数値とは接続しない。

# ■ 全国の製材品主要品目価格の推移(平成27年1月～令和元年6月)

○ 各製品ともほぼ横ばいで推移。

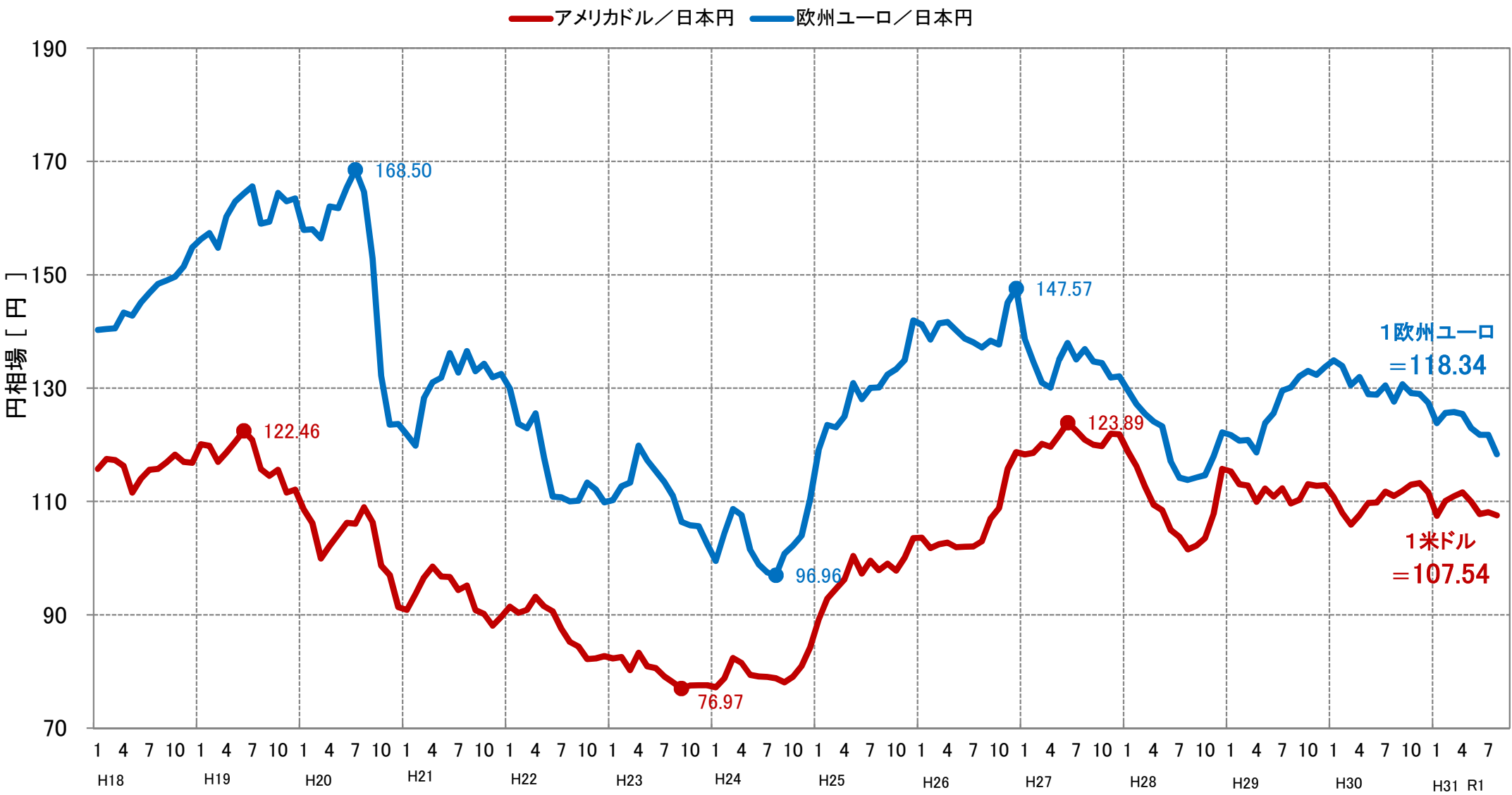
製材品価格



出典：農林水産省「木材需給報告書」、「木材価格」  
 ※ 価格は、木材市売市場、木材センター及び木材卸売業者への店頭渡し価格。  
 ※ 平成30年1月から、調査都道府県、調査対象工場の見直しがあったため、平成29年12月以前の数値とは接続しない。

# 為替レートの推移(平成18年1月～令和元年8月8日)

○ 米ドルは、8月8日現在106円台。  
 ○ 欧州ユーロは、8月8日現在119円台。

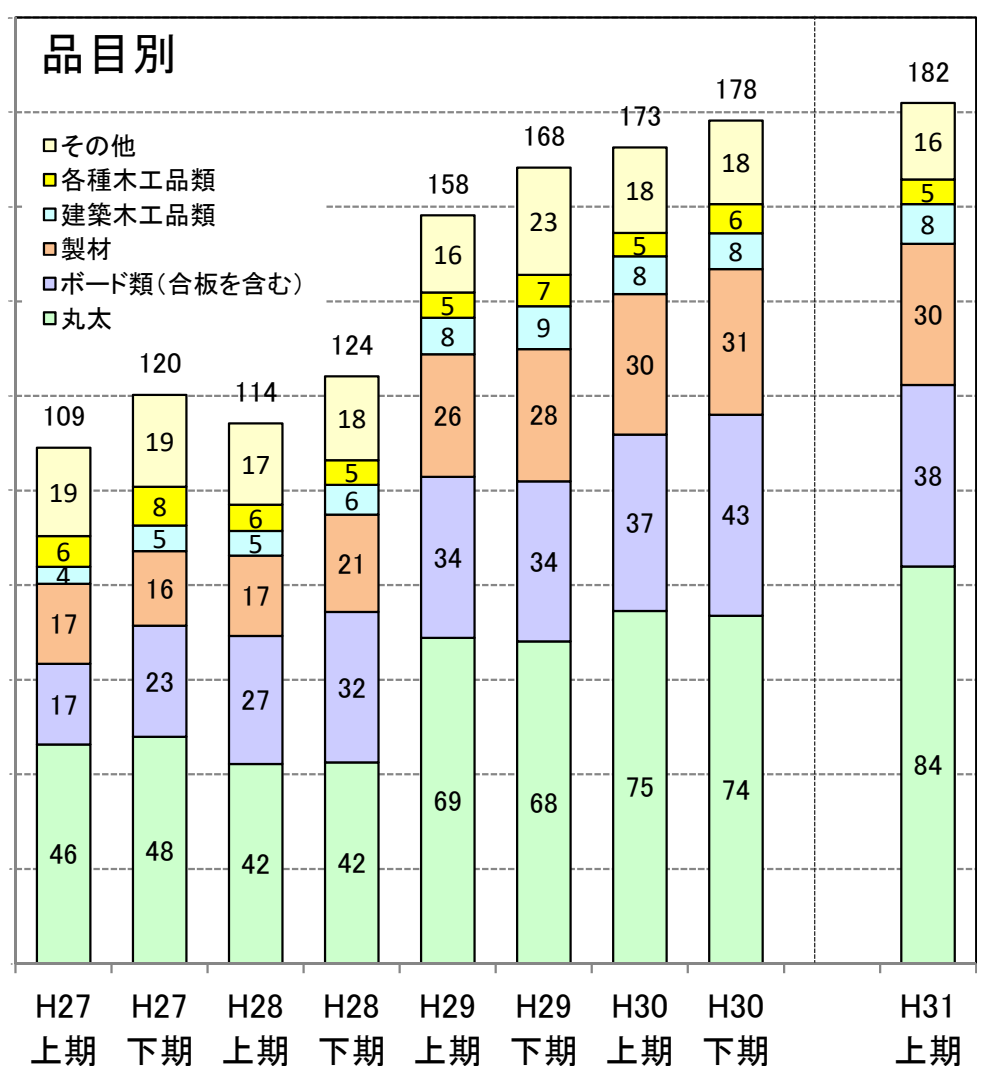
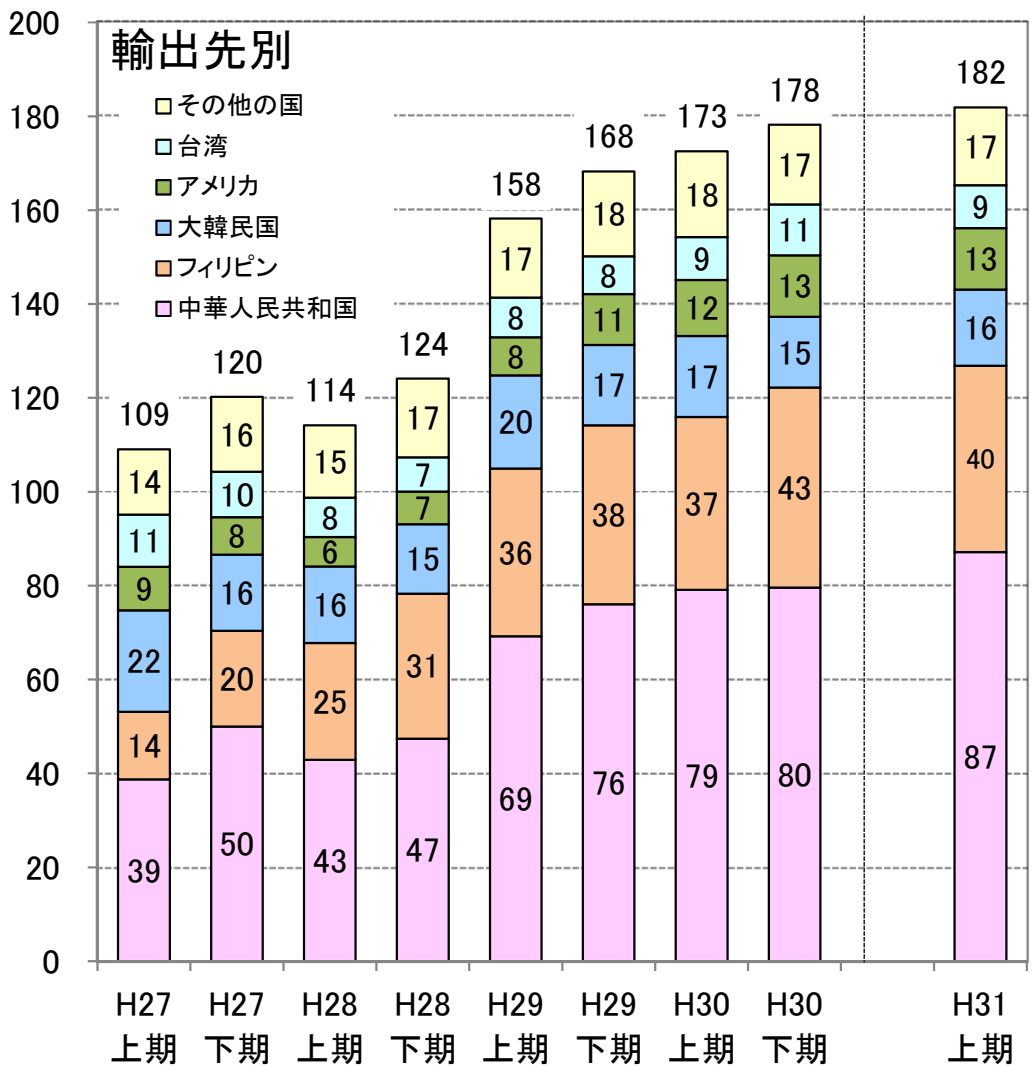


出典：Yahoo!ファイナンス(毎月の値は月間の最高値と最低値の平均)

# 輸出先別及び品目別の木材輸出額の推移(全国)

- 木材輸出額は年々増加傾向にあり、31年上期は前年同期と比較して+5%となっている。
- 31年上期の主要相手国は、中国、フィリピン、韓国、アメリカ、台湾となっている。
- 品目別輸出額では丸太が最も高く、次いでボード類、製材となっている。
- 31年上期を前年同期と品目別に比較すると丸太が+13%、ボード類が+3%、製材が±0%となっている。

木材輸出額 [ 億円 ]

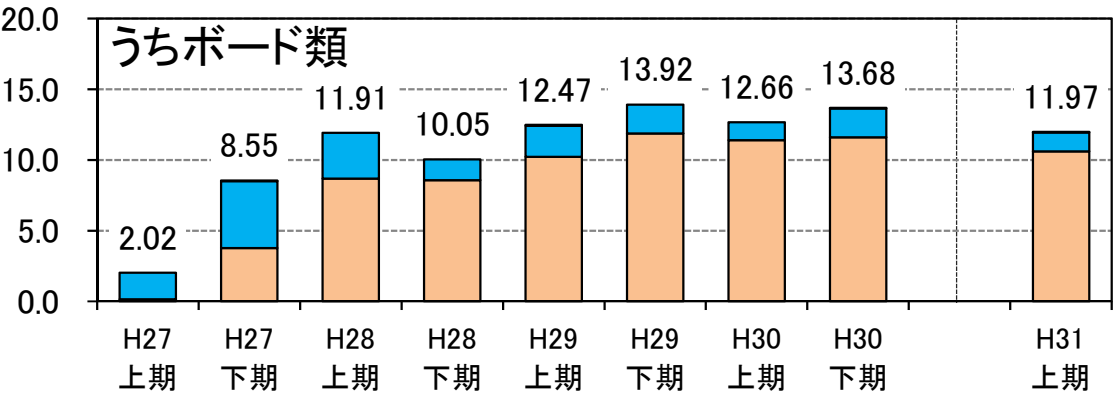
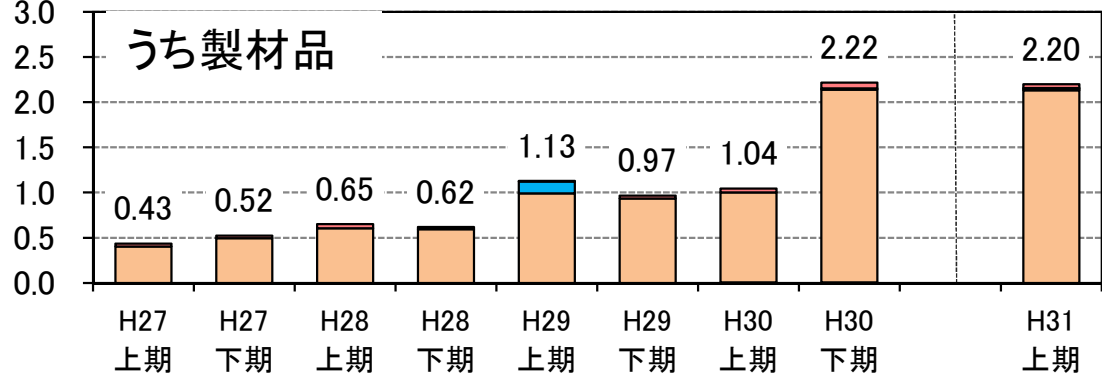
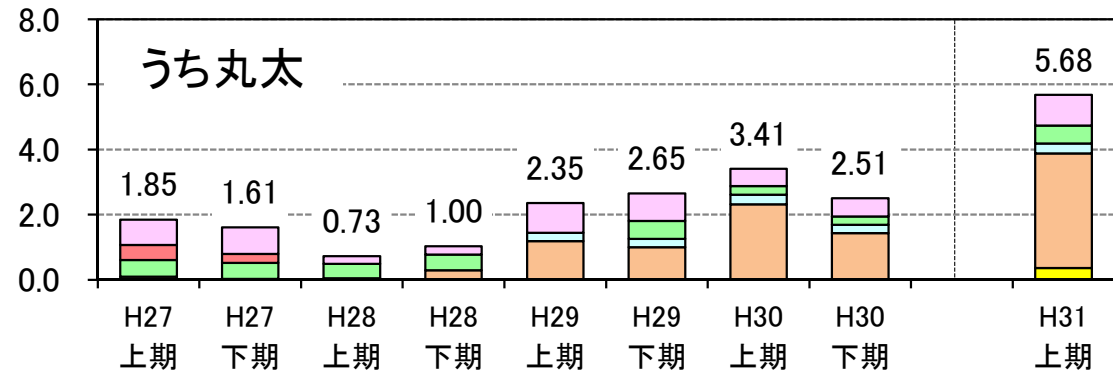
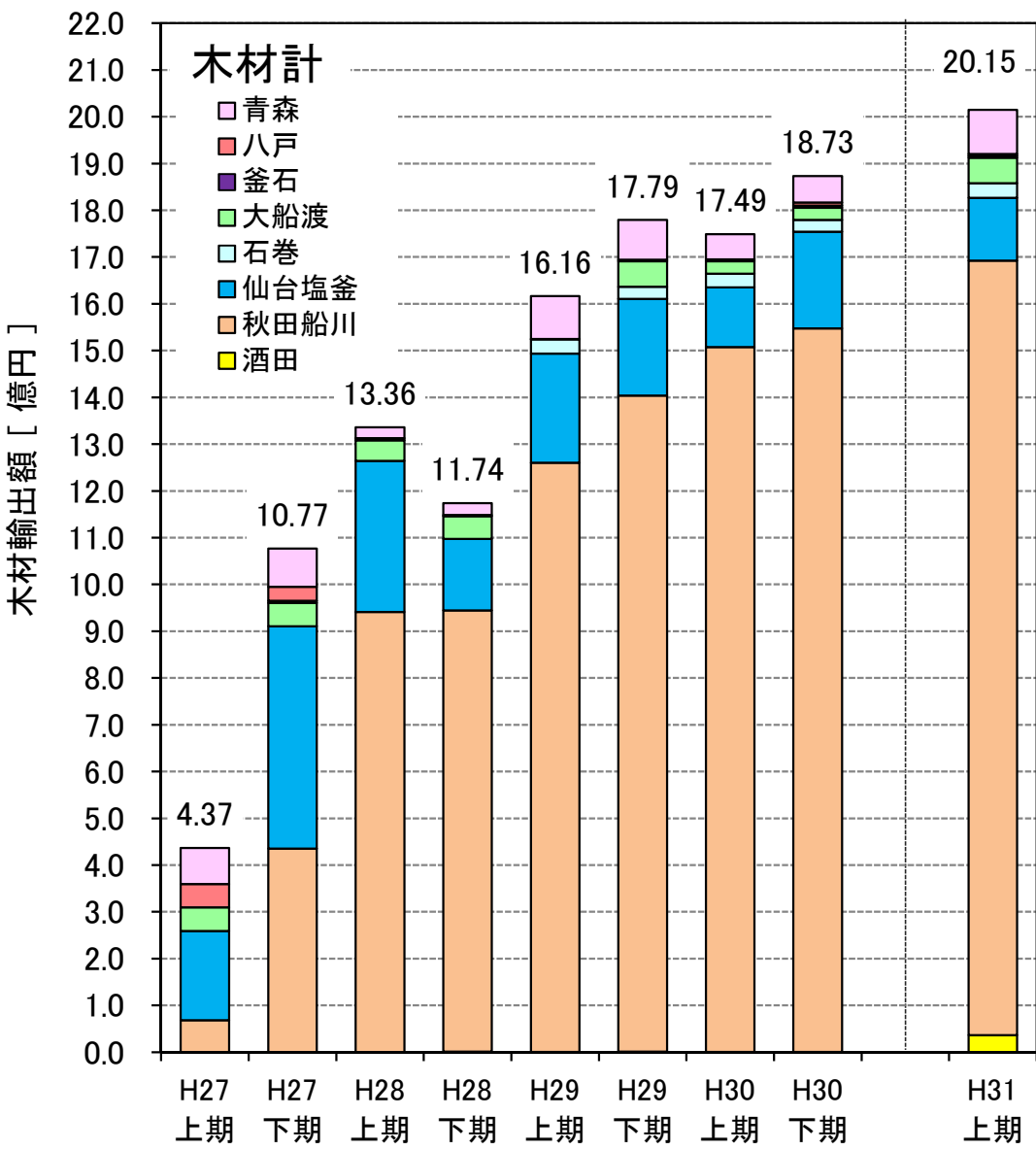


出典：財務省「貿易統計」



# ■ 東北5県における木材輸出額の推移

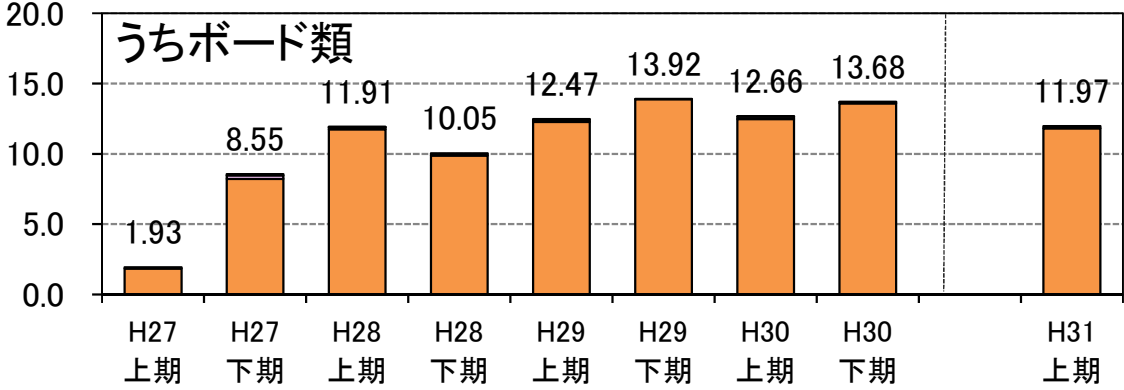
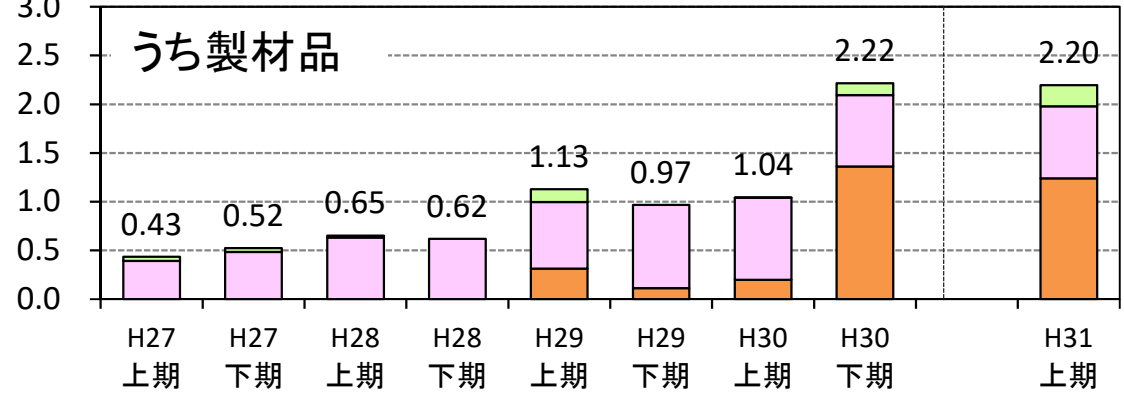
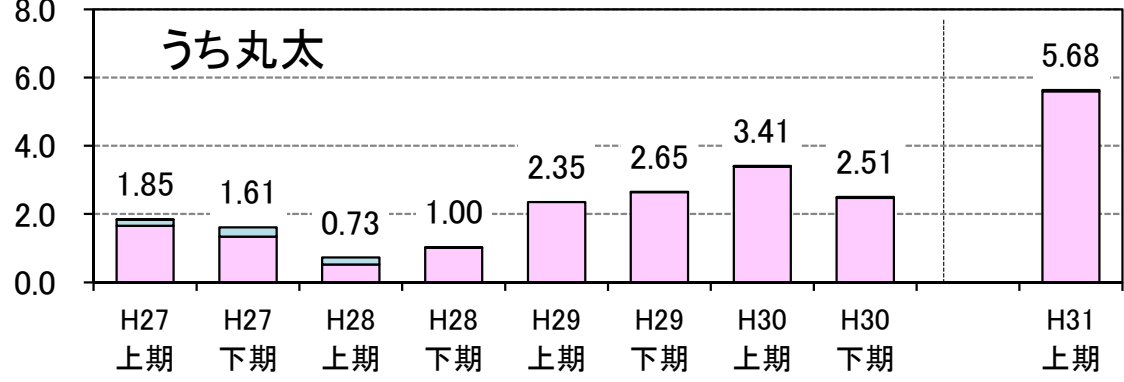
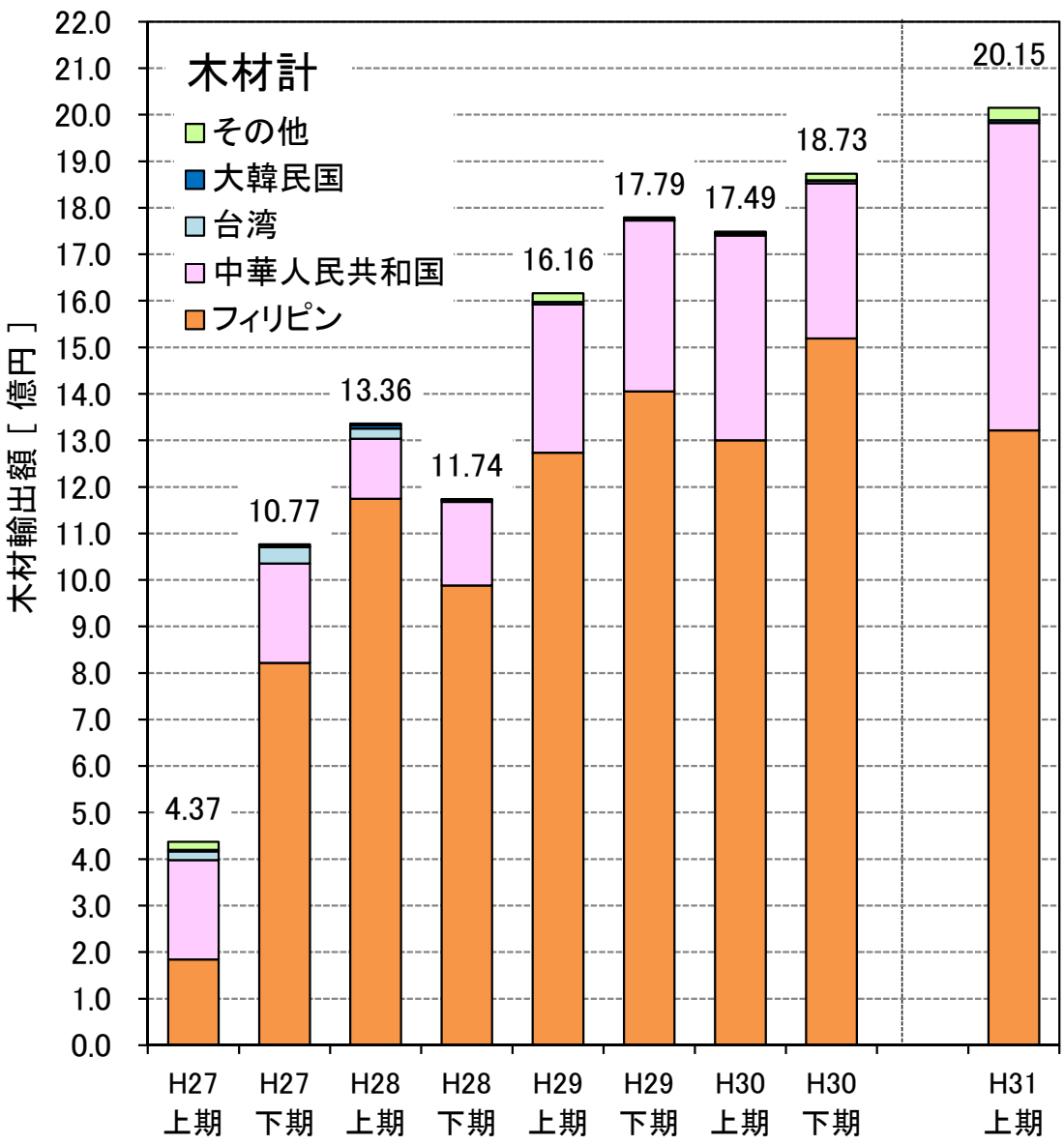
○ 東北5県における木材輸出額は増加傾向にあり、31年上期と前年同期を比較すると+15%となっている。  
 ○ 31年上期と前年同期を品目別に比較すると丸太が+66%、製材が+110%、ボード類が-5%となっている。



出典：財務省「貿易統計」

# ■ 東北5県における輸出先別の木材輸出額の推移

○ 31年上期の主要相手国は、フィリピンが最も高く、次いで中国となっている。  
 ○ 品目別では丸太は中国が最も多く、製材品、ボード類はフィリピンが最も高い。

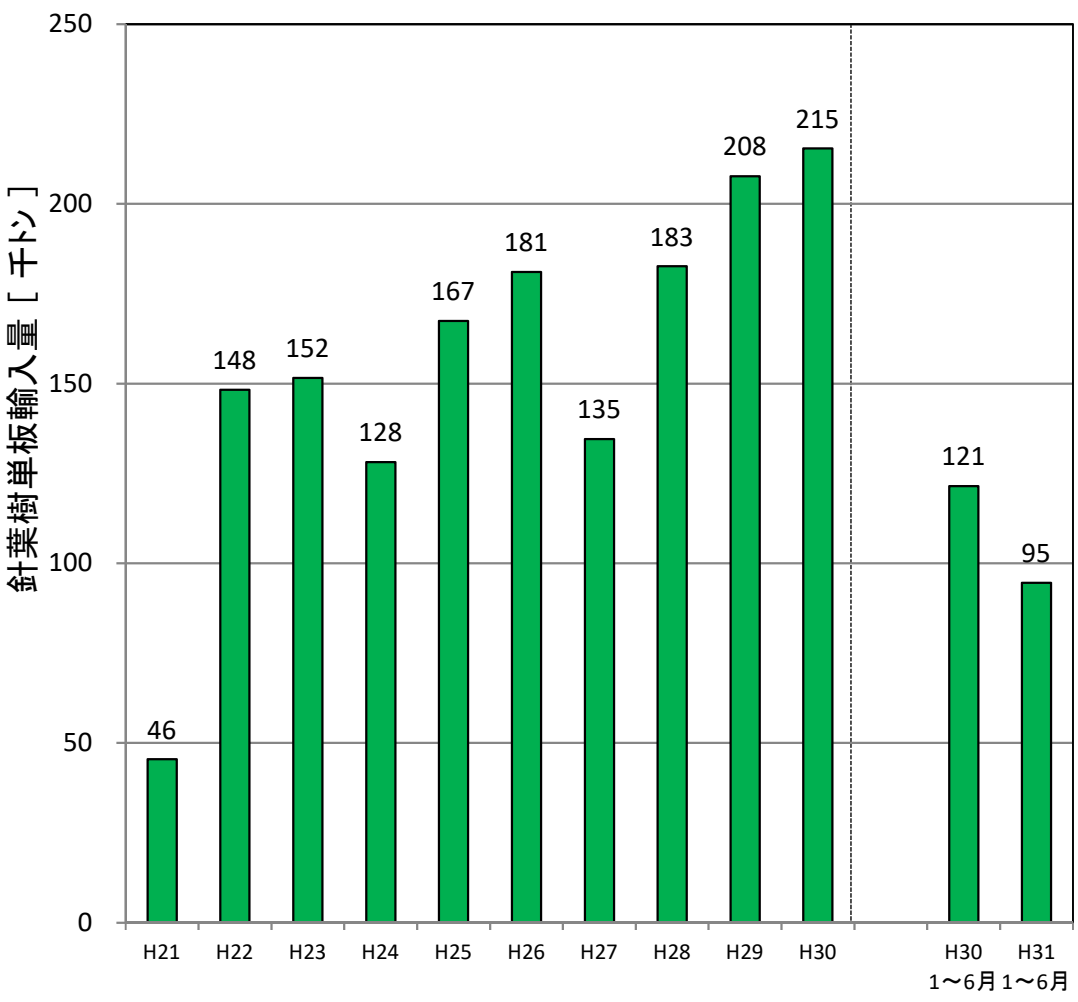


出典：財務省「貿易統計」

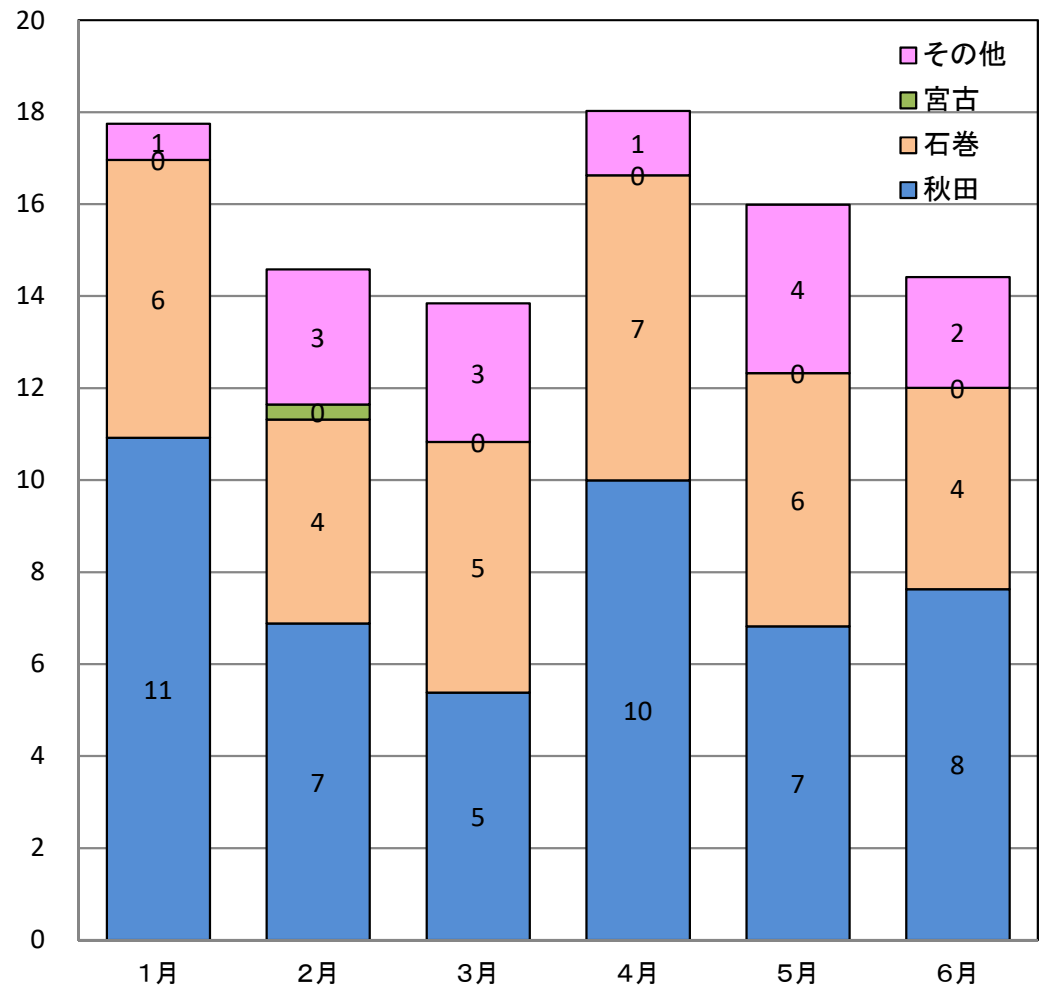
# ロシアからの針葉樹単板輸入量の推移

○ ロシアからの針葉樹単板輸入量は、31年上期と前年同期を比較すると-22%となっている。  
 ○ 31年上期の港別輸入量の比率は、秋田50.4%、石巻34.3%、宮古0.3%、その他15.0%となっている。

針葉樹単板(ロシア)



H31年 月別港別輸入量

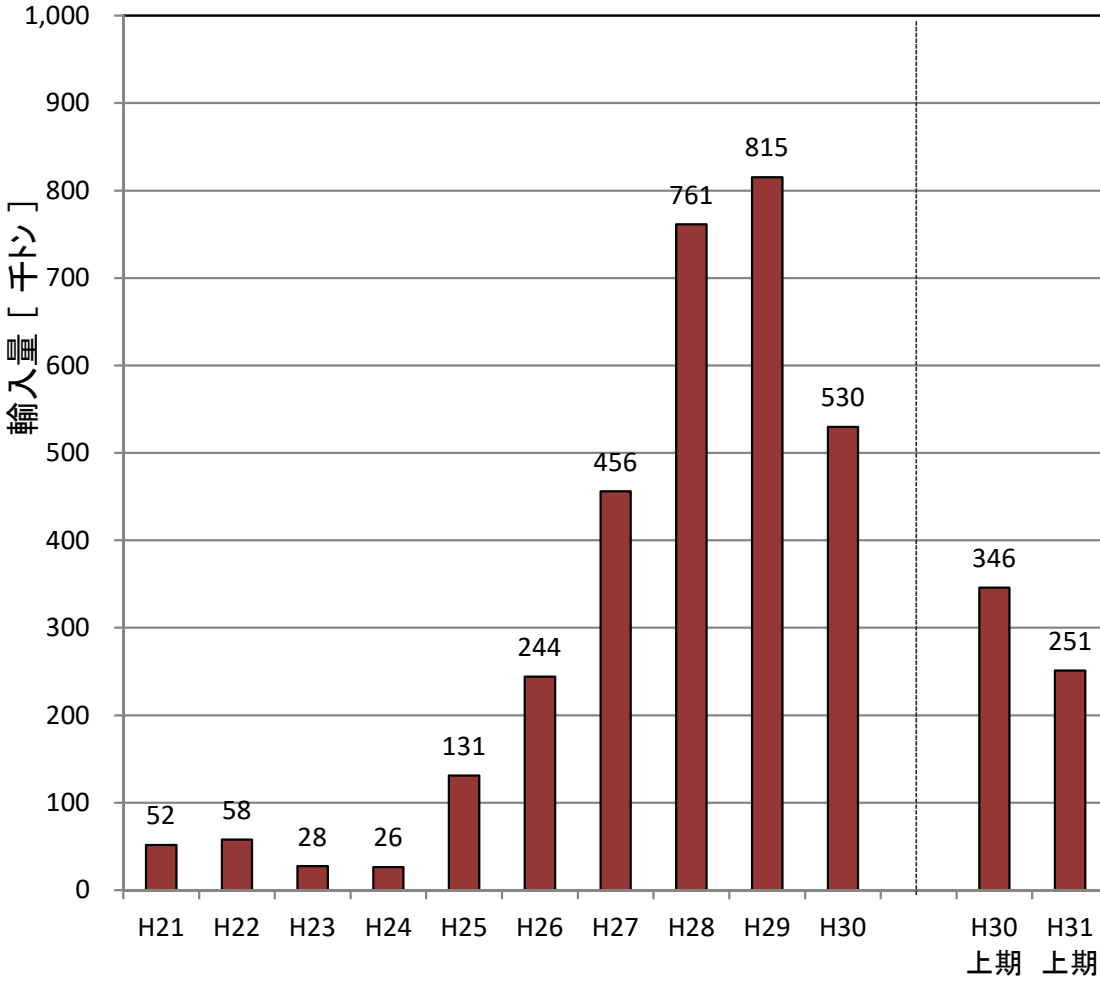


出典：財務省「貿易統計」

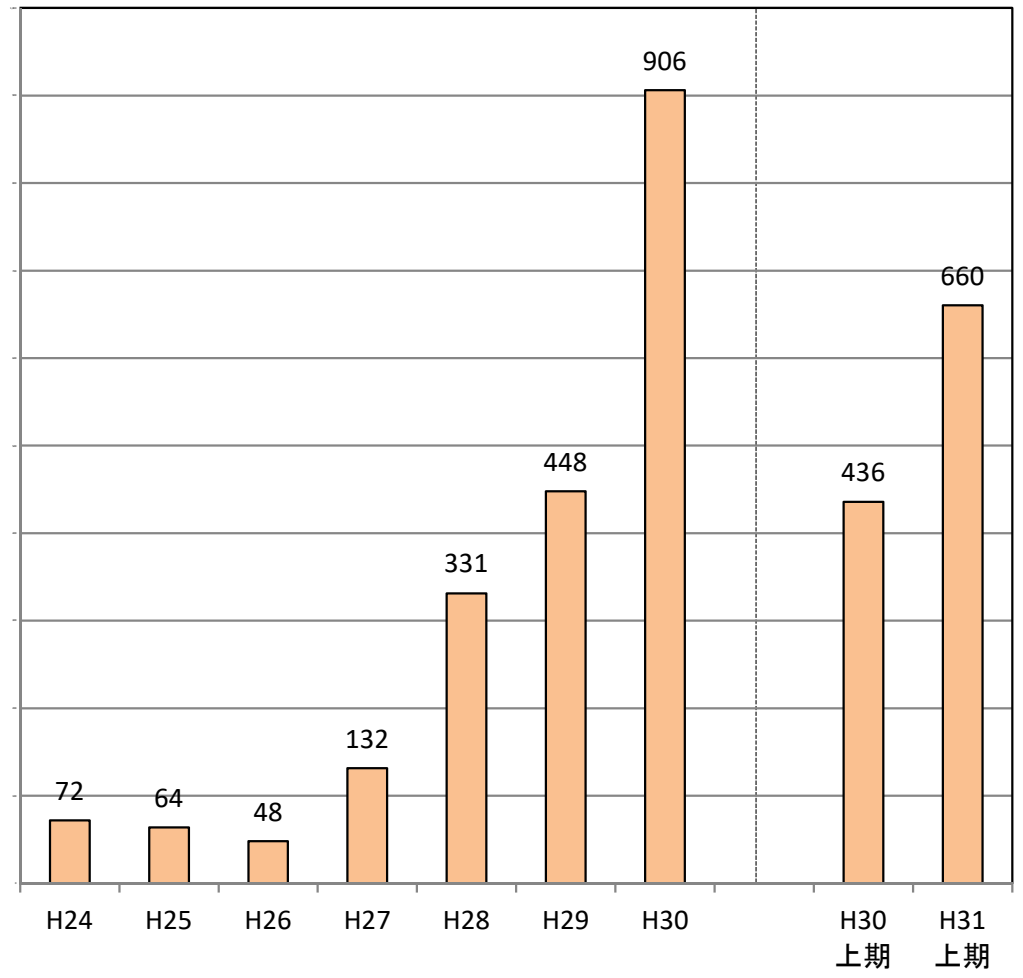
# PKS・木質ペレットの輸入量の推移

- PKS輸入量は、31年上期と昨年同期を比較すると-27%となっている。
- 主な輸入相手国はインドネシア(78%)、マレーシア(22%)となっている。
- 木質ペレット輸入量は増加しており、31年上期と昨年同期を比較すると+51%となっている。
- 主な輸入相手国はベトナム(50%)、カナダ(40%)、オーストラリア(4%)となっている。

PKS



木質ペレット



出典：財務省「貿易統計」